

FILE No. 12
保健福祉部

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2の各課総括表**をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
健康推進課(その1)	429		保健衛生部一般管理(庶務事務)
	430		保健所等維持運営
	431		保健センターの施設維持管理
	436		衛生統計調査等
	437		献血推進のための各種施策
	438		覚せい剤等乱用防止推進のための啓発活動
	439		区・医師会・歯科医師会との連絡会
	440		医師会・歯科医師会・薬剤師会への補助
	441		地域保健推進協議会の運営
	442		専門研修
	443		かかりつけ医機能推進
	444		かかりつけ歯科医機能支援
	445		健康都市杉並ファロ
	446		薬物相談関係機関の連携
	447		休日等急病診療
	448		休日等急病診療テレホンセンター
	449		歯科休日急病診療
	450		急病診療調剤事業
	451		災害救急対策
	452		障害者(児)歯科診療
	453		家庭訪問歯科診療
455		健康づくり推進員	
456		地域健康づくり支援事業	
457		健康増進事業	

次のページへ

健康推進課(その2) / 生活衛生課

FILE No. 12
保健福祉部

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2**の各課総括表をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
健康推進課(その2)	458		子ども健康教室
	459		ヘルシーセミナー
	460		地域健康講座
	461		栄養・健康講座
	462		集団給食施設指導
	463		精神保健相談
	464		精神障害者社会復帰訓練
	465		精神保健福祉連絡協議会運営
	493		健康手帳交付
	494		生活習慣病教室
	495		胃がん検診
	496		子宮がん検診
	497		肺がん検診
	498		乳がん検診
	499		大腸がん検診
	500		喉頭がん検診
	501		高年者健康診査
502		成人健康診査	
生活衛生課	470		環境衛生監視
	471		食品衛生監視
	472		動物の適正飼養
	473		畜犬登録
	474		薬事監視

前のページへ

健康推進課(その1)

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健衛生部一般管理（庶務事務）				整理番号	429		細番号	
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	444
係名 庶務係				上位施策名					NO	
予算事業名 保健衛生部一般管理				コード	40400		保健福祉施策の総合的推進			21
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区組織条例					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並保健所職員				(2) 杉並区組織規則					
					(3) 事業概要及び年報の作成に関する基準					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 保健衛生部全職員の一般旅費と事務費の計上、事業概要「杉並の保健衛生」の作成。				活動指標名(式)					
				(1) 保健所職員数						
				(2) 事業概要発行部数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 事業概要を配布することにより、杉並保健所の業務内容及び活動状況を広く周知する				成果指標名(式)						
				(1) 職員一人あたり旅費						
				(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 事業概要の発行により、保健衛生施策の実態や各種統計をお知らせし、現状とこれからの課題を認識してもらう。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	人	239	230	230	227	228			
	活動指標(2)	部	900	900	900	900	600			
	成果指標(1)	円	23238	20008	10630	9039	10195			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	13,086	10,720	8,034	7,418	7,603			
	職員数(正規 非常勤)	人	14.98	17.38	20.20	21.20	18.05	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	135,914	157,689	183,275	192,348	163,768		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	149,000	168,409	191,309	199,766	171,371			
	単位あたりコスト ÷	円	623,429	732,212	831,777	880,025	751,626			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	149,000	168,409	191,309	199,766	171,371			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	各種大会・学会の参加については、毎年度開催地が異なるため、かかる旅費額が変動するが、その開催回数については変更はなかった。(年度間に23回程度開催)平成12年度からは予算計上を行っていない。その他、一般旅費・職員標準事務費等については、例年大きな変動はない。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	事業予算が職員対象であるため、住民からの要望は特にない。								
	今後の予測	事業概要の発行については、大きな変更はない。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健所等維持運営				整理番号	430		細番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	445	
係名		庶務係				上位施策名				NO		
予算事業名		保健所等維持運営		コード	40600		保健福祉施策の総合的推進				21	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地域保健法・同施行令							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 乳児から高齢者までの、保健所及び保健医療センター利用者				(2) 杉並区保健所設置条例							
					(3) 杉並区立保健医療センター条例・同施行令							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 保健所及び保健医療センターの 庁舎維持管理 設備保守委託 備品の管理				活動指標名(式)				(1) 利用者数(職員及び施設内勤務者含む)			
									(2) 建物面積㎡			
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 安全で快適な施設及び環境を提供する				成果指標名(式)				(1) 不具合件数				
								(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 庁舎を計画的に維持管理することにより、保健所等を利用する区民に対し安全で快適な施設を提供している。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		人		70,003	72,956	70,347	74,469				
	活動指標(2)		㎡		6426.13	6426.13	6426.13	6426.13				
	成果指標(1)		件		25	15	9	15				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円		154,053	113,251	101,293	104,154				
	職員数(正規 非常勤)		人		0.90	0.90	0.90	0.40	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	8,166	8,166	8,166	3,629	平成11年4月竣工開始 延床面積6426.13㎡(荻窪保健センター面積1335.88㎡含む) 12年度駐車場管理従事者数及び駐車管理時間、警備時間の見直しにより事業費が減額となる 12年度休日等夜間急病診療所の平日休止による利用者減 13年度活動指標(1)の利用者増は、事業の充実及び組織改正に伴う職員増等			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	162,219	121,417	109,459	107,783				
	単位あたりコスト ÷		円		2,317	1,664	1,556	1,447				
	財源	受益者負担分	千円		0	0	0	0				
		国・都からの支出金	千円		0	0	0	0				
		その他特定財源	千円		447	586	475	599				
		特定財源計 + +	千円	0	447	586	475	599				
差引:一般財源 -		千円	0	161,772	120,831	108,984	107,184					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年竣工開始のため3年目となる13年度は、メンテナンスの経費の精査により開始当時より事業費は低額となる。又増進センター等の利用者増加によりボイラー用ガスの使用量が增大している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		妊婦健診時、所内の温度が上がったため(6月初旬)、気分が悪くなり受診せず帰宅する。									
	今後の予測		機器類の劣化及び建物の構造上の問題等があり(南側に換気窓がない、照明スイッチが同一のため不必要照明が発生する)、改善が必要のため修繕等の経費が増大する									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センターの施設維持管理		整理番号	431	細番号		
所属部課名		荻窪・高井戸・高円寺・上井草・和泉保健センター		コード		連絡先電話番号	446	
係名 業務係		上位施策名		NO				
予算事業名		保健所等維持運営		コード	40600	保健福祉施策の総合的推進		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置等に関する条例 (3) 杉並区保健センター条例・同施行令	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		乳児から高齢者までの、保健所及び保健医療センター利用者			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕。		活動指標名(式)		(1) 利用者数 (2) 建物面積1㎡	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健（検）診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備する。		成果指標名(式)		(1) 利用率(対所管人口) (2)	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 快適・安全な環境を維持することにより、公衆衛生行政が円滑に行える。								

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	人数	117,348	118,730	118,100	116,983	117,700					
	活動指標(2)	㎡	5,893	5,893	5,893	5,893	5,893					
	成果指標(1)	%	23	24	23	23	23					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	107,050	107,235	68,259	139,015	109,197					
	職員数(正規 非常勤)	人	9.86 0.00	9.00 0.50	8.43 0.25	9.47 0.00	9.84 0.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	89,460	81,657	76,485	85,921	89,278	保健センター面積(単位:㎡) ・荻窪 = 1335.88 (11年度337.72) ・高井戸 = 1356.74 ・高円寺 = 1764.74(分室含む) ・上井草 = 815.37 ・和泉 = 620.18 計 5892.91 基準人口 ・計画 = 各年度の4月1日 ・実績 = 同 3月1日			
		非常勤職員分	千円	0	1,470	735	0	0				
	総事業費 + +	千円	196,510	190,362	145,479	224,936	198,475					
	単位あたりコスト ÷	円	1,675	1,603	1,232	1,923	1,686					
	財源	受益者負担分	千円		60	48	97	99				
		国・都からの支出金	千円	1,126	1,193	1,035	1,380	1,035				
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	1,126	1,253	1,083	1,477	1,134				
差引:一般財源 -	千円	195,384	189,109	144,396	223,459	197,341						
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	少子化の進行、育児不安を持つ親の増加、児童虐待の表面化等子どもを取り巻く問題が深刻さを増している。施設面では荻窪以外の保健センターは、開所以来大規模修繕を行っていないため施設及び設備機器の老朽化が進み、設備機器については突発的に使用不能になるという事態が起きている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者、障害者の方々の来所が増えてきているため、施設面の苦情が寄せられている。(エレベーターの設置・洋式トイレの増設) また、老朽化に伴う苦情も多い。(換気が悪い・冷暖房の不良・トイレが汚い)										
	今後の予測	母子保健における健診・相談業務の必要性、地域活動の重要性は高まるばかりである。設備機器について老朽化が激しいため、突発的に使用不能となる事態も考えられる。大規模修繕は空間的余裕がないため実現は困難であるが、平成15年度に予定されている(仮称)保健福祉センターの設置にあわせ、IT推進という観点からも電気関係を中心にした事務室の改造が必要と考える。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生統計調査等				整理番号	436		細番号	
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150101		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	452	
係名 庶務係		上位施策名					NO			
予算事業名 保健事業の推進		コード	41400		健康なまちづくりの推進			22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 統計法					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		無作為抽出した世帯及び世帯員。医療機関、医療関係者。出生・死亡・婚姻・離婚・死産届のあったもの。保健所及び保健センター。					(2) 統計報告調整法		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)							(3) 地域保健法		
	厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。人口動態調査については、調査票に基づき杉並区の統計資料を作成する。区独自の事業として、テーマを設定し実施している。		活動指標名(式)					(1) 実施調査数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策にひろく反映させる。					成果指標名(式)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 今後の厚生行政施策に反映させるとともに、「健康なまちづくりの推進」のための施策に活用している。		(1) (代)区単位のベースラインデータ構築数					(2)			
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	調査	6	8	7	8	4			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	データ	7	9	8	9	5			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,666	6,573	7,789	5,264	1,538			
	職員数(正規 非常勤)	人	3.05	2.06	2.80	2.95	0.50	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	27,673	18,690	25,404	26,765	4,537		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	32,339	25,263	33,193	32,029	6,075			
	単位あたりコスト ÷	円	5,389,775	3,157,923	4,741,914	4,003,669	1,518,625			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
		国・都からの支出金	千円	4,657	3,917	7,702	7,446	1,450		
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 + +	千円	4,657	3,917	7,702	7,446	1,450		
差引:一般財源 -		千円	27,682	21,346	25,491	24,583	4,625			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	地域保健を取り巻く状況は、急速な高齢化の進展、慢性疾患の増加等により大きく変化してきた。これに伴い、統計調査の種類・様式も見直されている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	留守世帯が多く、回収が困難な状況にある。また、調査趣旨の理解を得られず、回収できないケースも多い。								
	今後の予測	指定統計については今後も変わらないが、承認統計については、増減が予想される。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		献血推進のための各種施策			整理番号	437	細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	452
係名 庶務係				上位施策名				NO	
予算事業名 保健事業の推進				コード	41400	健康なまちづくりの推進			22
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区献血推進協議会設置要綱				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 16歳以上の区内在住・在勤・在学者				(2) 献血の推進について(昭和39年8月21日閣議決定)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 献血推進協議会の開催及び運営を行う 献血推進のための啓発ポスターを送付する 献血推進キャンペーンと区役所庁舎内での献血を実施する				活動指標名(式) (1) 区内献血者数 (2) 献血実施回数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 献血者数の増加。				成果指標名(式) (1) 区内献血目標(予定)者数のうち、実際に献血した人数の割合(%) (2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 人工的に製造できない輸血用血液及び血液から製造される血液製剤の需用と供給のバランスを保つよう、献血の推進を行う。									

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
				計画	実績		年度	年度	
指標	活動指標(1)	回	4,432	5,818	6,517	4,843	5,000		
	活動指標(2)	回	4	4	4	5	4		
	成果指標(1)	%	92	116	100	74	100		
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	899	323	339	265	310		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.40	0.41	0.10	0.11	0.20	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,720	907	998	1,815	成果指標 10年度 ・計画=4,800人 ・実績=4,432人 11年度 ・計画=5,015人 ・実績=5,818人 12年度 ・計画=6,517人 ・実績=4,843人 13年度 ・計画=5,000人
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++	千円	4,528	4,043	1,246	1,263	2,125		
	単位あたりコスト ÷	円	1,022	695	191	261	425		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都からの支出金	千円						
		その他特定財源	千円						
特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -	千円	4,528	4,043	1,246	1,263	2,125			
受益者負担比率 ÷	%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	献血推進協議会の開催及びその他の各施策については、大きな変化はない。 ・献血推進協議会開催回数=年2回(うち部会=1回) 平成10~13年度 ・夏季キャンペーン開催回数=年1回 ・ポスター送付枚数=夏季・冬季で約3,300枚							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測	献血意識の低下により、献血希望者が減少傾向にある。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		覚せい剤等乱用防止推進のための啓発活動				整理番号	438		細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	内4524		昨年度整理番号	453	
係名 庶務係				上位施策名					NO		
予算事業名 保健事業の推進				コード	41400	健康なまちづくりの推進					22
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 55 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 「ダム、セツタイ。」普及運動実施要領						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民を中心とする、区内駅頭における歩行者及び区行事への参加者 区内中学校生徒				(2)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 覚せい剤等薬物乱用防止のために、薬物乱用防止推進杉並地区協議会と協力し、駅頭等で啓発キャンペーン（パネルの展示、チラシ、ティッシュペーパー等の配布）を行う。 また、区内中学校生徒を対象に薬物乱用防止ポスター・標語の募集を行う。				(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 覚せい剤等薬物乱用防止のために、薬物乱用防止推進杉並地区協議会と協力し、駅頭等で啓発キャンペーン（パネルの展示、チラシ、ティッシュペーパー等の配布）を行う。 また、区内中学校生徒を対象に薬物乱用防止ポスター・標語の募集を行う。				活動指標名(式) (1) 啓発キャンペーン実施回数 (2)						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 区民等が、覚せい剤等薬物に関する正しい知識を持ち、薬物乱用の恐ろしさや危険性を理解することにより、薬物乱用防止の必要性を認識する。				成果指標名(式) (1) 杉並区内の麻薬・覚せい剤事犯検挙者数 (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 家族・学校・地域ぐるみで薬物の乱用を防止し、健全な地域社会の形成を図る。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		3	3	3	4	3				
	活動指標(2)		3000	3000	3000	3000	3000				
	成果指標(1)		71	69		77					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	45	48	42	41	49			
	職員数(正規・非常勤)		人	0.20	0.21	0.20	0.21	0.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,905	1,815	1,905	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	1,860	1,953	1,857	1,946	1,864			
	単位あたりコスト ÷		円	619,867	651,110	618,867	486,583	621,200			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	1,860	1,953	1,857	1,946	1,864				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		全国的には、昭和59年をピークとする「第2次覚せい剤乱用期」を経て、平成7年以降再び検挙人員が増加に転じ、平成10年に「第3次覚せい剤乱用期突入」宣言されるなど、覚せい剤を中心とした薬物事犯者が大幅に増加している。東京都においても、ほぼ同様の推移を示している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		検挙件数、検挙人員は共に増加傾向にあり、第3次覚せい剤乱用期における薬物乱用の拡大が懸念される。とりわけ、20歳代を中心に青少年への拡大が危惧される。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区・医師会・歯科医師会との連絡会				整理番号	439	細番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	454		
係名 庶務係				上位施策名				NO			
予算事業名 保健事業の推進				コード	41400	健康なまちづくりの推進			22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区保健連絡会設置要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区医師会、杉並区歯科医師会				(2) 杉並区歯科衛生連絡会設置要綱						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 杉並区医師会との間で開催する保健連絡会を年11回、杉並区歯科医師会との間で開催する歯科衛生連絡会を年4回の割合で開催する。				活動指標名(式)						
					(1) 保健連絡会開催回数						
				(2) 歯科衛生連絡会開催回数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 保健連絡会、歯科衛生連絡会を開催することにより、諸課題の解決や連絡調整機能を充実させる。				成果指標名(式)							
				(1) (代)保健連絡会開催回数							
				(2) (代)歯科衛生連絡会開催回数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 医師会及び歯科医師会との間で、保健連絡会、歯科衛生連絡会を開催し、保健医療情報の迅速な連絡体制を確立することにより、保健衛生事業の円滑な推進が図られる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	11	11	11	11	11			
	活動指標(2)		件	2	2	4	3	3			
	成果指標(1)		件	11	11	11	11	11			
	成果指標(2)		件	2	2	4	3	3			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	9	9	0			
	職員数(正規・非常勤)		人	0.20	0.21	0.20	0.21	0.00		特記事項 杉並区医師会連絡会については、13年度から保健福祉部管理課の部一般管理事業に統合した。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,905	1,815	1,905	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	1,815	1,905	1,824	1,914	0			
	単位あたりコスト ÷		円	164,964	173,212	165,782	174,030	0			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	1,815	1,905	1,824	1,914	0				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		連絡会の開催回数についての変動はないが、杉並区医師会との保健連絡会については、13年度から保健福祉部管理課所管の部一般管理事業に移行した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。								
	今後の予測		現状の施策に関して、今後大きな変動はない。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医師会・歯科医師会・薬剤師会への補助				整理番号	440	細番号				
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	455					
係名 庶務係		上位施策名					NO					
予算事業名 保健事業の推進		コード	41400	健康なまちづくりの推進				22				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	50 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度		(1) 杉並区健康保持事業補助金交付要綱							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	(2) 医療技術研修補助金交付要綱									
	杉並区医師会、杉並区歯科医師会、杉並区薬剤師会 杉並区歯科技工士会、杉並区接骨師会			(3) 杉並区医師会付属看護高等専修学校運営費補助金交付要綱 (4) 杉並区地域医療連携推進委員会運営費補助金交付要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)							
事業対象団体が実施する区民健康保持事業、医療技術研修事業、看護高等専修学校運営事業、地域医療連携推進委員会運営費に対し補助金を支払う。				(1) 補助金申請数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				(2)								
医師会・歯科医師会・薬剤師会が実施する健康保持事業を支援することにより、区民の健康保持増進等を図る。 歯科技工士会・接骨師会が実施する医療技術研修事業を支援することにより、会員の資質向上を図る。 医師会付属看護高等専修学校の運営経費の一部を補助することにより、看護職員の確保等を図る。 地域医療連携を推進し、区民の福祉向上に寄与する。				成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				(1) (代)実施事業件数								
医療関係団体が実施する健康保持事業、医療技術研修事業等に財政援助することで、区民の健康保持・増進に貢献している。				(2)								
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件	7	7	7	7	7					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	37	34	32	30	31					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	9,295	9,295	8,620	8,620	7,980					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20	0.21	0.20	0.21	0.20	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,905	1,815	1,905	1,815	平成12年度、13年度は補助金の削減を行なった。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	11,110	11,200	10,435	10,525	9,795					
	単位あたりコスト ÷	円	1,587,086	1,600,047	1,490,657	1,503,619	1,399,229					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	11,110	11,200	10,435	10,525	9,795						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	当初は健康保持事業に対する補助金で始めたが、平成2年度から医療技術研修に対する補助金、平成4年度から地域医療連携推進委員会に対する補助金を追加した。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし										
	今後の予測	平成12年度予算配当時に示された事業予算額削減案に基づき助成金を削減していく。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域保健推進協議会の運営				整理番号	441		細番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	455		
係名 庶務係					上位施策名					NO		
予算事業名 保健事業の推進					コード	41400		健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区地域保健推進協議会設置要綱							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 委員対象：学識経験者、区内各種団体の推薦委員、公募委員				(2)							
					(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区民の健康づくりに関すること、地域保健医療計画の推進に関すること、保健・医療・福祉の連携に関すること、保健所及び保健センターの運営に関すること、その他、地域保健の推進に関すること、についての協議を行う。				活動指標名(式) (1) 協議会開催回数 (2)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 杉並区における地域保健推進施策及び保健所の運営等について、各団体（区民）の代表である委員により課題等を協議することで、区民の健康の保持・増進を図る。				成果指標名(式) (1) 協議(議事)件数 (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 各種の地域保健施策及び保健所の運営等について、委員を通じ、区民の意見を幅広く聴き協議することにより、区民との協働による健康なまちづくりの推進が図られる。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回	2	3	2	2	3				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		件	12	18	12	17	20				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	342	545	407	334	592				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.31	0.30	0.31	0.30		特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,722	2,813	2,722	2,813	2,722				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	3,064	3,358	3,129	3,147	3,314				
	単位あたりコスト ÷		円	1,531,950	1,119,210	1,564,450	1,573,315	1,104,633				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円	437	603	0	0	0			
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 + +		千円	437	603	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	2,627	2,755	3,129	3,147	3,314					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度に、保健所運営協議会を廃止し、保健所運営協議会、健康づくり推進協議会の性格を併せ持つ杉並区地域保健推進協議会を設置した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		各委員からは、地域保健医療計画、保健・医療・福祉の連携、区民の健康づくり施策等について、貴重な意見を頂戴している。									
	今後の予測		平成11年に「特別区における地域保健医療計画推進協議会設置・運営指針」がなくなったことから区独自で地域保健推進協議会を設置する必要がなくなった。地域保健推進協議会の運営について再検討する必要がある。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		専門研修				整理番号	442		細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	457	
係名		保健情報主査			上位施策名				NO		
予算事業名		保健事業の推進		コード	41400	健康なまちづくりの推進				22	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地域保健法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並保健所専門研修事業実施要領						
	保健衛生に関する知識を必要とする区職員及び関係団体職員等。		(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名(式)								
上記対象者に保健衛生の専門研修を実施する。また、保健所の技術・専門職の知識を活用するため、講師は原則として保健所の専門職で対応。		(1) 講座開催数									
		(2) 講座参加者数									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名(式)									
高齢者・障害者・児童福祉分野等、日々の業務の中で保健衛生の知識を必要とする区職員及び関係団体職員等の資質の向上を図られる。		(1) 受講生の内、アンケート等により成果があったと答えた人の割合(何%)									
		(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区職員及び関係団体職員等の資質の向上を図る。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	回	7	6	6	7	6				
	活動指標(2)	人	441	250	250	235	250				
	成果指標(1)	%				67.7	80				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	522	340	159	146	159				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.90	1.03	2.00	0.33	0.20	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,166	9,345	18,146	2,994	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	8,688	9,685	18,305	3,140	1,974				
	単位あたりコスト ÷	円	1,241,100	1,614,198	3,050,833	448,584	328,933				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	8,688	9,685	18,305	3,140	1,974				
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢者・障害者・児童福祉分野の職員等を対象に行ってきたが、高齢者分野は介護保険の導入に伴い、新たにケアマネージャーへの研修の必要性が生じてきている。また、NPO等住民参加型の中小事業者が増加するなど、区民を取り巻く状況が変化している中で、介護者の知識や技術の向上等に保健所としてアプローチしていく必要性が生じている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特に関係団体等の中には、独自の企画が難しく、十分な研修を組めない所が多い。多彩な専門職種を有する保健所への期待は大きい。									
	今後の予測	高齢者分野では、NPO等中小の介護保険事業者が介護サービスを担っていくとともに、社会福祉基礎構造改革により、他の分野も制度変更が想定される。今後も、住民参加型の事業者が介護・福祉サービスの担い手として活動していく中では、従来にも増して、従事者の資質が問われていく。保健福祉部他課とも連携をとりながら、より効果的な研修を開催し、関係団体職員等の資質の向上に取組む必要がある。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ医機能推進				整理番号	443		細番号		
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	458	
係名		健康推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		保健事業推進		コード	41400	地域医療体制の整備			39		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区かかりつけ医機能推進事業実施要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 医師会に委託して、区民一人ひとりにかかりつけ医を持つことの必要性を啓発し、区民からのかかりつけ医紹介等の相談に応じる。また、区からもかかりつけ医の必要性を啓発していく。				活動指標名(式) (1) 相談受付件数 (2) 啓発チラシ配布						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が、日常的な健康管理を安心して行うことができ、身近な地域で適切な医療を受けられる。				成果指標名(式) (1) かかりつけ医をもつ区民の割合 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 身近な地域で適切な医療を受けられることにより、医療機能の分担と連携が促進され、地域医療体制の整備が図られる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		件	68	43	70	43	80	80	61.4	
	活動指標(2)		枚					5,300	5,300		
	成果指標(1)		%	63					70		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,968	2,968	1,388	1,386	1,388			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05	0.05	0.55	0.05	0.35		特記事項 成果指標は区民の意識調査より把握する。次回の区民意識調査時に合わせて調査を行い、数値を把握する。(配布チラシ等) 11年度は、医師会において作成配布。12年度は医師会において医療機関マップ作成配布。	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	454	454	4,990	454	3,176		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	3,422	3,422	6,378	1,840	4,564			
	単位あたりコスト ÷		円	50,318	79,573	91,116	42,783	57,044			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	3,422	3,422	6,378	1,840	4,564				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度からは、介護保険制度も始まり、要介護認定の際に、かかりつけ医の意見書が必要とされるなど、かかりつけ医の必要性はますます高まっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		かかりつけ医のいない区民(全区民の36.9%)の75.2%がかかりつけ医を必要としている。(平成9年度 区民受療行動調査)								
	今後の予測		高齢社会の進展や介護保険制度の導入などにより、かかりつけ医による日常の健康管理の必要性はますます高まっていく。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ歯科医機能支援				整理番号	444	細番号			
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	459		
係名				健康推進係		上位施策名			NO		
予算事業名				保健事業の推進		地域医療体制の整備			39		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13 年度				(1) 東京都歯科医療連携推進事業実施要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 全区民及び歯科医師会、医師会加盟医療機関				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 歯科保健医療センターを中心に区民、医科診療所・病院と歯科医療機関との歯科医療体制のシステム化を進めるために医師会・歯科医師会と協議の場を整備し、在宅要介護高齢者や障害者、ウイルス性疾患感染者などの歯科診療を受けにくい区民を中心にかかりつけ歯科医の紹介と定着を行う。				活動指標名(式) (1) かかりつけ歯科医機能支援検討委員会の開催数 (2) 相談受付件数						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) すべての区民が身近にかかりつけ歯科医をもち、定期健診や必要に応じて適切な専門医療が受けられる。				成果指標名(式) (1) かかりつけ歯科医をもつ区民の割合 (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 身近にかかりつけ歯科医を持ち、定期健診や必要に応じて適切な専門医療が受けられることは地域医療体制の整備につながる。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	回		1	2	1	2		50.0		
	活動指標(2)	件	218	150	100	91	100		91.0		
	成果指標(1)	%	61.1				65		87.2		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円		149	684	788	120				
	職員数(正規 非常勤)	人		0.02	0.65	0.05	0.05	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	181	5,897	454	454	活動指標(2)については、10～12年度は家庭訪問歯科診療事業の申し込み数をあてた。13年度以後は、歯科保健医療センター歯科医療連携室への相談数をあてる。成果指標については13年度から継続的取得が可能。10年度実績は平成9年実施の区民受領行動調査による。		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	0	330	6,581	1,242	574				
	単位あたりコスト ÷	円		330,460	3,290,725	1,241,650	286,825				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円		629	99	445	0			
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	629	99	445	0			
差引:一般財源 -	千円	0	-299	6,482	797	574					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	11年度から歯科医師会・医師会と協議を重ね、本事業の理解は徐々に深まっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	かかりつけ歯科医をもたない区民(全区民の38.9%)の68.5%がかかりつけ歯科医を必要としている。(平成9年度 区民受領行動調査)									
	今後の予測	かかりつけ歯科医の紹介業務は歯科保健医療センターを中心に行われることになる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康都市杉並ファロ				整理番号	445		細番号	
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	-
係名				保健情報主査		上位施策名			NO	
予算事業名				保健事業の推進		健康なまちづくりの推進			22	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21) (2) 地域保健対策の推進に関する基本的な方針 (3)	
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		すべての区民、団体、企業。			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				9～10月の「健康都市杉並推進月間」中に、杉並保健所等を会場とし、関係団体などによる催しを行う中央イベント、各保健センターを中心に地域住民との協働による地域イベント、健康都市の理念を共有する各種団体が独自に実施する協賛イベントからなる多彩な活動を実施する。		活動指標名(式)		(1) イベント参加者数 (2) 協賛・協力団体数	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)				健康都市づくりの理念の共有、地域ネットワークの充実、総合的な健康政策推進のためのシステム整備。		成果指標名(式)		(1) イベント参加率(参加者/区人口) (2) (代)協賛・協力団体数	
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 健康都市杉並ファロを継続して実施することにより、健康都市杉並の共通認識の醸成を図り、健康都市杉並発展のための推進基盤の整備を図る。									
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人			11035	15000			
	活動指標(2)		団体			32	40			
	成果指標(1)		%			2.18195983	2.5			
	成果指標(2)		団体			32	40			
総事業費・コスト把握	事業費		千円			320	950			
	職員数(正規 非常勤)		人			2.64	2.08	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	23,953	18,872		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	0	24,273	19,822		
	単位あたりコスト ÷		円				2,200	1,321		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円				320		
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	320	0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	23,953	19,822			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		健康都市杉並の推進基盤整備を図るため、平成12年度より全く新しい考え方の企画として実施。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		12年度は初年度であったため、企画の内容を有効に生かすための日程設定、区としての関わり、予算措置等について意見が寄せられた。							
	今後の予測		『健康都市杉並区民会議』の設立等に伴い、より住民主導の事業として展開していく必要がある。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		薬物相談関係機関の連携				整理番号	446		細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	内4524		昨年度整理番号		
係名 庶務係		上位施策名						NO			
予算事業名		保健事業の推進		コード	41400	健康なまちづくりの推進			22		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 12 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		○ 無 ● 有 平成 13 年度		(1) 杉並区薬物乱用問題関係機関連絡協議会設置要綱						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 薬物相談関係機関の連携強化のための試行事業実施要綱(東京都)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		薬物相談関係機関で構成する連絡協議会を設置し、各関係機関の所管業務の相互理解・情報交換、対応困難な相談事例の検討等を通じて、適切な連携体制の確立を図る。 なお、この事務事業は、東京都の委託事業として、平成12、13年度の2年間行うものである。		(3)						
	活動指標名(式)				(1) 連絡協議会参加団体数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		薬物相談関係機関の連携を強化し、薬物乱用の初期段階及び治療終了後の社会復帰段階において、薬物乱用者の状態や家庭環境などの事情に応じて適切に対応できる体制を確立する。		成果指標名(式)							
				(1) 薬物乱用事例検討数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
各関係機関の連携体制を確立し、薬物乱用者に対する適切な対応を行うことにより、健康なまちづくりの推進を図る。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	団体			24	24	24				
	活動指標(2)				2	2	3				
	成果指標(1)	件			0	0	4				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円			336	336	336				
	職員数(正規 非常勤)	人			0.10	0.10	0.10	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	907	907	907			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	0	0	1,243	1,243	1,243				
	単位あたりコスト ÷	円			51,804	51,804	51,804				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円			336	336	336			
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	0	336	336	336			
差引:一般財源 -		千円	0	0	907	907	907				
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	現在、「第3次覚せい剤乱用期」といわれる薬物乱用問題は、特に、青少年層への拡大が著しく、大きな社会問題となっている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測	検挙件数、検挙人員の増加に見られるように、第3次覚せい剤乱用期における薬物乱用の一層の拡大が懸念される。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休日等急病診療				整理番号	447		細番号				
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	460			
係名		健康推進係			上位施策名				NO				
予算事業名		休日等診療		コード	42000	地域医療体制の整備				39			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区休日夜間等急病診療事業実施要綱						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
	休日等の急病により診療を必要とする区民						(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		多くの医療機関が休診する時間帯における急病患者に対する休日等急病診療を固定及び医療機関の輪番当番制によって実施している。 (1)土曜日・固定診療 1所 ・輪番診療 耳鼻咽喉科1ヶ所 (2)日曜日・固定診療 1所 ・輪番診療 9カ所				活動指標名(式) (1) 休日等受診者延人数 (2) 開設延日数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		休日等にも区民が安心して身近な地域で症状に応じた医療が受けられるようにする。				成果指標名(式) (1) (代)一日固定診療所 診療者数 (2) (代)一日在宅輪番診療所診療者数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 多くの医療機関が休診する時間帯において急病患者に対する医療を確保することにより、区民が安心して生活できる。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		人	9,733	8,744	8,432	7,392	8,432					
	活動指標(2)		日	800	690	808	808	808					
	成果指標(1)		人	14	6	16	14	16					
	成果指標(2)		人	10	9	6	8	6					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	134,262	149,449	125,286	128,551	129,263					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.42	0.35	0.16	0.10	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,811	3,176	1,452	907	指標として転帰者率とすると ころであるが数値を捕らえる のが難しいため代替として、 固定、輪番受診者の一日の 受診者数とする。 予定受診者数8432人(固定 2000人、輪番4432人) 開設延日数固定診療120日 在宅輪番診療所688日 固 定受診者数 1773人 輪番 受診者数 5619人				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	137,891	153,260	128,462	130,003	130,170					
	単位あたりコスト ÷		円	14,167	17,527	15,235	17,587	15,438					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円	4,128	4,128	4,128	4,128			4,128		
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	4,128	4,128	4,128	4,128			4,128		
差引:一般財源 -		千円	133,763	149,132	124,334	125,875	126,042						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度平日準夜の小児科診療を実施して事業の拡充を図ったが、引き続き財政難に加え平日準夜の利用者が少なかったため、平成12年度からは事業の休止にいたった。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		要望 ・夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 ・救急時の医療体制を充実してほしい。 ・急病診療機関の当番表を広報に掲載してほしい。										
	今後の予測		少子高齢化の進展や疾病構造の変化などから、救急医療に対する需要は年々増加とともに多様化してきており、区民からの救急医療体制の整備についての要望は強くなっていく。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休日等急病診療テレホンセンター				整理番号	448		細番号		
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	478	
係名 健康推進係				上位施策名				NO			
予算事業名 休日等診療				コード	42000	地域医療体制の整備				39	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 48 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区休日夜間等急病診療事業実施要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 休日等の急病により診療を必要とする区民				(2)						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 休日等の急病患者に対する休日等夜間急病診療所の診療受付、医療機関の紹介、医療相談を実施している。				活動指標名(式) (1) 利用者延人数(医科) (2) 実施日数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 多くの医療機関が休診する時間帯において急病患者に対する医療を確保し、休日等診療事業を円滑に実施する。				成果指標名(式) (1) 一日利用者数 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 多くの医療機関が休診する時間帯において急病患者に対する医療を確保することにより、区民が安心して生活できる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	10,917	10,109	8,904	8,105	8,904			
	活動指標(2)		日	120	366	120	120	120			
	成果指標(1)		人	91	28	74	68	74			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	22,090	10,424	9,757	10,604	10,716			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.15	0.05	0.05	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722	2,722	1,361	454	454		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	24,812	13,146	11,118	11,058	11,170			
	単位あたりコスト ÷		円	2,273	1,300	1,249	1,364	1,254			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	24,812	13,146	11,118	11,058	11,170				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度平日準夜の小児科診療及びテレホンセンター事業を実施して事業の拡充を図ったが、引き続き財政難に加えて平日準夜の利用者数が少なかったため、平成12年度からは事業の休止にいたった。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		少子高齢化の進展や疾病構造の変化などから、救急医療に対する需要は年々増加するとともに多様化してきており、区民からの救急医療体制の整備についての要望は強くなっていく。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科休日急病診療				整理番号	449		細番号					
所属部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104	連絡先 電話番号	4524		昨年度 整理番号	462				
係名 健康推進係				上位施策名				NO						
予算事業名 休日等診療				コード	42000		地域医療体制の整備				39			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 52 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区歯科休日急病診療事業実施要綱									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 休日等に歯科診療を必要とする区民				(2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 多くの医療機関が休診する休日や祝祭日、年末年始等における 歯科の急病患者に対応するため、杉並区歯科医師会に事業を委 託、実施している。				活動指標名(式)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 休日、祝祭日や年末年始等における急病患者に対する歯科医療 を確保する。				成果指標名(式)									
				(1) (代)一日あたりの診療人数										
				(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 多くの医療機関が休診する休日、祝祭日や年末年始等において急病患者に対する医療を確保することにより、区民が安心して生活できる。														
区分		単位	10年度 実績		11年度 実績		12年度		13年度		目標値	目標値に対 する12年度 の達成率%		
							計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		人	581		719		731		662		669		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		人	8		10		10		9		9		
	成果指標(2)													
総事業費・ コスト把握	事業費		千円	24,199		24,140		22,665		24,292		24,574		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40		0.41		0.35		0.11		0.37		特記事項
	人 件 費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629		3,720		3,176		998		3,357	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0	
	総事業費 + +		千円	27,828		27,860		25,841		25,290		27,931		
	単位あたりコスト ÷		円	47,897		38,748		35,350		38,202		41,750		
	財 源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0	
		国・都からの支出金		千円	0		0		0		0		0	
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0	
		特定財源計 + +		千円	0		0		0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	27,828		27,860		25,841		25,290		27,931			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		救急診療体制に対する区民の要望は依然高い。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)		要望 ・夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 ・救急時の医療体制を充実してほしい。											
	今後の予測		疾病の急発は予測不能であり、患者の急減は考えにくく、休日等における歯科医療機関の整備は、今後も必要である。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		急病診療調剤事業				整理番号	450		細番号					
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	463			
係名				健康推進係				上位施策名		NO				
予算事業名				休日等診療		コード	42000		地域医療体制の整備		39			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区調剤待機事業実施要綱					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		休日等に調剤を必要とする区民		(2)					
									(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				一般の薬局が調剤しない時間帯に処方箋に基づく調剤事業を行う。				活動指標名(式)				(1) 利用者数	
												(2) 実施日数		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				急病診療事業及び歯科診療事業と連携し、急病患者に処方箋に基づき薬を調剤することにより休日等急病診療事業の円滑な運営を図る。				成果指標名(式)				(1) (代)1日利用者数		
												(2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												急病診療事業及び歯科診療事業に対応する処方箋の応需体制を確保することにより、区民が安心して生活できる。		
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)	人	395	2,391	1,920	1,889	2,148							
	活動指標(2)	日	120	366	120	120	120							
	成果指標(1)	人	3	7	16	15.7	17.9							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,128	8,988	7,991	8,128	8,130						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.21	0.15	0.11	0.10	特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	1,905	1,361	998	907						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	7,035	10,893	9,352	9,126	9,037						
	単位あたりコスト ÷		円	17,811	4,556	4,871	4,831	4,207						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	7,035	10,893	9,352	9,126	9,037							
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度平日準夜の小児科診療及び調剤業務を実施して事業の拡充を図ったが、引き続き財政難に加え平日準夜の利用者が少なかったため、平成12年度からは事業の休止にいった。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		要望 ・夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 ・救急時の医療体制を充実してほしい。											
	今後の予測		固定診療において診療を行うのであるなら、休日等における保険調剤事業は必要もあるが、区内調剤薬局の休日等の営業状況によっては検討を要する事業である。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		災害救急対策				整理番号	451		細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	内4524		昨年度整理番号	464	
係名 庶務係				上位施策名					NO		
予算事業名				災害救急対策		コード		42200		健康を支える仕組みづくり	40
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				54 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 災害対策基本法				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 災害時の医療救護活動に関する協定(医師会等)						
	災害時に医療救護所等に搬送されてきた負傷者等				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
	災害時に医療救護所となる区立小・中学校(15校)に配備している災害救急ミニセット(医薬品及び衛生資材)の入替・滅菌等維持管理 区立小・中学校(67校)に配備している接骨セットの滅菌等維持管理				(1) 維持管理している災害救急ミニセットの数 (2) 維持管理している接骨セットの数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)							
負傷者に対して、応急処置等適切な医療救護を行う。				(1) (代)災害救急医薬品等が整備されている医療救護所の割合 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 災害救急医薬品等を整備することにより、災害時における区民の健康の確保に備えている。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		セット	15	15	15	15	15			
	活動指標(2)			67	67	67	67	67			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100		100.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,480	13,748	11,162	11,162	11,162			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.41	0.40	0.42	0.40	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,720	3,629	3,811	3,629			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	25,109	17,468	14,791	14,973	14,791			
	単位あたりコスト ÷		円	1,673,947	1,164,529	986,080	998,177	986,080			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	25,109	17,468	14,791	14,973	14,791				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成7年の阪神・淡路大震災以降、震災対策の強化と震災に強い安全なまちづくりの推進が求められている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		平成7年の阪神・淡路大震災後6年が経過し、大震災直後に比べると直接の要望数は減少しているが、引き続き震災対策の強化と震災に強い安全なまちづくりに対する住民の期待は高い。								
	今後の予測		震災対策の強化と震災に強い安全なまちづくりの推進は、継続的に行う必要がある。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者（児）歯科診療				整理番号	452		細番号	
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		
係名		健康推進係		上位施策名				NO		
予算事業名		障害者（児）歯科診療		コード	42400		地域医療体制の整備			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		6年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		○無 ●有		平成 12年度		(1) 杉並区立障害者歯科診療所条例			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立障害者歯科診療所条例施行規則					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区立障害者歯科診療所において、診断・治療・指導及び訓練を杉並区歯科医師会に委託して、実施する。				(3) 杉並区立障害者歯科診療事業実施要綱			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		全身管理のもと歯科治療・口腔衛生指導を実施し、障害者等の歯科疾患に適切な対応を行うとともに発症、重症化を防ぐ。診療の機会の確保を図る。				活動指標名(式)			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		一般の歯科医療機関での治療が難しく、歯科診療を受けることが出来なかった区民に対して安全で十分な歯科治療を受ける機会を確保することは、区民の健康を守ることに繋がっている。				成果指標名(式)			
						(1) 診療延人数				
						(2) 予診人数(新患者数)				
						(1) (代)診療延人数の前年比				
						(2)				
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	2286	2301	2200	1985				
	活動指標(2)	人	72	70	80	59				
	成果指標(1)	%	115	101	96	86				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	70,109	68,431	68,589	66,191				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.60	0.62	0.80	0.80			特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,444	5,625	7,258	7,258	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	75,553	74,056	75,847	73,449	0			
	単位あたりコスト ÷	円	33,050	32,184	34,476	37,002				
	財源	受益者負担分	千円	1,995	1,772	1,693	2,181			
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0			
		その他特定財源	千円	14,052	13,829	12,420	17,106			
		特定財源計 + +	千円	16,047	15,601	14,113	19,287	0		
差引:一般財源 -		千円	59,506	58,455	61,734	54,162	0			
受益者負担比率 ÷	%	2.6	2.4	2.2	3.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	開設(平成6年12月)より、年々受診者が増加し、平成11年7月からは、新たに麻酔医を雇い上げたり、診療体制を変更したりすることなく全身麻酔治療が実施できるようになった。また、障害者（児）歯科診療事業及び家庭訪問歯科診療事業の見直しの結果、平成13年度より新規事業として歯科保健医療センターを開設した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	所在地の下井草は、一般的にも交通の便が悪く、障害を持つ患者の通院が大変困難であるため、区民及び(社)杉並区歯科医師会から『搬送体制の整備』や『中心地への移転』について強い要望がある。特に和泉・高井戸地区からの通院が難しい。								
	今後の予測	障害者だけではなく、感染症患者や要介護高齢者等一般の歯科医療機関で診療が難しいケースへの対応が必要となる。区立障害者歯科診療所でも診療体制の改善・充実が求められ、区立歯科保健医療センターへの事業統合(13年4月開設)に伴い障害者等の歯科診療については要介護高齢者やウイルス性疾患感染者等で一般歯科医療機関の受診が困難な者も対象とし対象者の拡大を図った。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		家庭訪問歯科診療				整理番号	453		細番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	466		
係名 健康推進係					上位施策名				NO			
予算事業名 家庭訪問歯科診療					コード	42600		地域医療体制の整備		39		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 61 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12 年度				(1) 杉並区家庭訪問歯科診療事業実施要綱							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 訪問歯科連絡調査会設置要領							
	原則として、65歳以上で、在宅寝たきりの区民				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 訪問調査を行い、判定結果により(社)杉並区歯科医師会に委託し、訪問歯科診療を実施する。				活動指標名(式) (1) 申込人員 (2) 訪問診療人数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 上記対象者の歯科治療の機会を確保する。				成果指標名(式) (1) 寝たきり高齢者数(65歳以上の推計)に対する申し込み人数の割合 (2) 申込人数に対する訪問診療人数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 外出できないため歯科治療を受けられなかった患者が、在宅で歯科診療を受けることができる。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	218	150	150	91					
	活動指標(2)		人	154	109	100	74					
	成果指標(1)		%	5	4	4	2					
	成果指標(2)		%	71	73	67	81					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	25,855	19,666	18,250	14,300					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.30	0.82	1.38	0.77				特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,795	7,440	12,521	6,986	0			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	37,650	27,106	30,771	21,286	0				
	単位あたりコスト ÷		円	172,706	180,706	205,138	233,914					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0				
		その他特定財源		千円	0	0	0	0				
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	37,650	27,106	30,771	21,286	0					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		社会保険診療での訪問歯科診療の評価が明確になったことや区内の一般歯科診療所の在宅歯科診療に対する意識・技術の向上により、在宅での歯科治療が普及定着した。現行事業での行政の役割の変化により事業を終了し、平成13年度より区立歯科保健医療センターで在宅歯科診療を含む歯科医療機関の紹介業務を開始した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・対象年齢以下の訪問歯科診療希望者が多い。 ・訪問調査時に応急処置して欲しい。 ・病院・老健施設等入院・入居者からの訪問歯科診療実施の要望がある。									
	今後の予測		平成12年度 本事業廃止 平成13年度 「歯科保健医療センター」を開設し、在宅歯科診療希望者に対する相談・歯科医療機関の紹介については、同センター運営の一部として実施する。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康づくり推進員				整理番号	455	細番号				
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	468					
係名 健康推進係		上位施策名						NO				
予算事業名 健康づくりの推進		コード	42620	健康なまちづくりの推進				22				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度		(1) 国民の健康・体力増強対策について(閣議決定)							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	(2) 国民の健康づくり地方推進事業実施要綱									
	地域の健康づくりを推進する健康づくり推進員、企画委員				(3) 杉並区健康づくり推進員設置要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)							
	健康づくり企画委員は、企画委員会議を核として、健康づくり情報紙の発行や健康教室を始めとした地域の健康づくりを推進するための催しの企画運営に参加し、地域での健康づくりを推進していく。健康づくり推進員は、健康づくり企画委員の仕事に協力する。				(1) 情報紙発行部数 (2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)								
個人やまちの健康づくりに関心をもつ住民を増加させるために、地域の特性を反映した多彩な健康づくり活動を主体的に展開する健康づくり推進員・企画委員になる。				(1) 企画委員会議への出席率 (2) 健康づくり企画委員、推進員が自主的に実施した事業数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
健康づくり推進員・企画委員の地域への働きかけにより、住民一人ひとりが主体的に健康づくり活動に参加するまちづくりが可能になり、子どもから高齢者まで全ての人が、安心して健やかに生活できる「健康都市」の創造に貢献する。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		部	17,500	59,300	59,300	83,400	10,000				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	72	77	100	74	100				
	成果指標(2)		回	13	17	35	36	10				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,043	1,769	1,664	1,407	894				
	職員数(正規 非常勤)		人	4.29	4.22	4.06	3.76	4.38	特記事項 13年7月から、健康づくり推進員の活動形態を改正し、委嘱に対する謝礼方式から自主的な活動拠点として区内9つの地区に設置された「健康づくり地区会」への活動助成のための補助金交付形態となる。健康づくり推進員と企画委員の二層性を改め、健康づくり推進員のみの一層性にした。そのため各指標を再検討する必要が生じ、13年度計画についてもこれを受けて作成する。			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	38,923	38,288	36,836	34,114	39,740				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	40,966	40,057	38,500	35,521	40,634				
	単位あたりコスト ÷		円	2,341	675	649	426	4,063				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	40,966	40,057	38,500	35,521	40,634					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		時代の変化に合わせた健康づくり住民リーダーを育成するため、平成9年に健康づくり推進員制度を発足させた。一期2年の任期である健康づくり推進員活動が二期4年にわたって実施されてきた。これまでの活動上の問題点の解決を図りながら費用対効果を上げるための改正案が12年度中に出され、第3期健康づくり推進員から新体制での活動が行われることとなる。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・他部所に比して予算が少ない。 ・推進員等への個人への謝礼を活動費に充当して活動しやすくしてほしい。 ・日頃、健康に関心をもたない地域の人たちに健康づくり情報紙を配布して感謝されている。									
	今後の予測		13年6月までの3年間のサンセット事業として位置付けられていたが、制度の改正を行い、基本計画に計画化された。今後は、地域住民の声や地域の特性にあった活動が健康づくり推進員によって主体的に展開され、町会等の地域団体と協働した健康なまちづくりが推進される。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康づくり支援事業				整理番号	456		細番号			
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	469			
係名 健康推進係		上位施策名			NO							
予算事業名 健康づくりの推進		コード	42620		健康なまちづくりの推進			22				
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期	● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地域保健法第6条						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 国民の健康づくり地方推進事業実施要綱								
	区民及び自主グループ		(3) 地域健康づくり支援事業実施要領									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)									
	講座やセミナーの受講者に、自主グループ結成を促す。誕生グループに対して2～3年を限度として、共同事業による講座実施やネットワーク交流会などを通じて自立にむけての支援をする。		(1) 新規誕生グループ数 (2) 共同事業実施回数(グループと行政が共同で行なう事業)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)										
健康づくり自主グループを多数誕生させ、その成熟に向けて増加し、ネットワーク化が図られ、草の根的に区民の健康づくり活動が展開される。		(1) 自立した(発足後3年間経過)健康づくり自主グループ数/平成10年度に誕生したグループ数 (2) ネットワーク交流会参加グループ数/支援中の自主グループ数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		多彩な健康づくり自主グループが多く誕生し、主体的な健康づくり活動が行われることは、健康なまちの要素である。多年にわたるグループ同志の交流からも多様な活動が展開され、地域の健康づくりに貢献する。										
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績		15年度		
指標	活動指標(1)		グループ	17	19	25	20	25	25	25	80.0	
	活動指標(2)		回	63	44	32	70	32	32	32	218.8	
	成果指標(1)		%		67	100	68	100	100	100	68.0	
	成果指標(2)		%	66	82	80	68	80	80	80	85.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,511	1,400	1,842	1,458	1,842				
	職員数(正規 非常勤)		人	7.36	5.41	5.85	5.84	5.76	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	66,777	49,085	53,077	52,986	52,260			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	69,288	50,485	54,919	54,444	54,102				
	単位あたりコスト ÷		円	4,075,781	2,657,102	2,196,762	2,722,216	2,164,099				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	69,288	50,485	54,919	54,444	54,102					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度にスタートし、誕生から成熟に向けてのグループ支援が4年経過し、自立グループができ、主体的な活動を行っている。また、区内すべての健康づくり自主グループを網羅する住民と行政の協働のもと設立された「杉並健康ネットワーク」による情報紙の創刊号が発行された。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・仲間づくりと健康づくりが同時にできてうれしい。 ・グループ誕生後3年経過して自立グループになっても、活動の場や職員の支援を継続してほしい。 ・杉並健康ネットワークを拠点に健康なまちづくりにむけて活動したい。									
	今後の予測		新規誕生グループの増加に伴い自立グループも増加してくる。その結果、これまでの健康づくりのイメージにとどまらない多彩な活動が展開される。また、杉並健康ネットワークの充実が図られ、生きがいの活動から健康なまちづくりへの積極的参加など行政のパートナーとして充実した活動が予測される。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康増進事業				整理番号	457		細番号				
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	470				
係名 健康推進係		上位施策名						NO					
予算事業名 健康づくりの推進		コード	42620		生涯を通じた健康づくりの支援				23				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区保健医療センター条例								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区保健医療センター条例施行規則										
	軽度の生活習慣病罹患患者及び生活習慣病境界域にある区内在住・在勤(学)者。		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)								
	施設運営を民間業者及び杉並区医師会に委託し、運動負荷検査を年12回、運動指導を年153回実施する。				(1) 運動負荷検査受検者数								
				(2) 運動指導利用者数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)									
処方された運動プログラムに基づく運動を継続的に実践することにより生活習慣の改善行動を促し、疾病の発症・進行を予防する。				(1) 生活習慣改善率 (生活習慣が改善された者) ÷ (利用者数)									
				(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
生活習慣を改善する必要がある区民に、バランスのとれた食事・生活・運動を実践する手助けを行うことで、一人ひとりの健康づくりに役立っている。													
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		人			33		48	42	48			
	活動指標(2)		人			341		4800	1199	1200			
	成果指標(1)		%						14.9				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			7,159		4,664	4,616	5,027			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.23		0.30		0.38	0.35	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0		2,087		2,722	3,448	3,176			
		非常勤職員分	千円	0		0		0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0		9,246		7,386	8,064	8,203			
	単位あたりコスト ÷		円			280,175		153,873	191,994	170,886			
	財源	受益者負担分		千円			220		1,200	470	492		
		国・都からの支出金		千円					2,168	2,597	2,839		
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0		220		3,368	3,067	3,331		
差引:一般財源 -		千円	0		9,026		4,018	4,997	4,872				
受益者負担比率 ÷		%			2.4		16.2	5.8	6.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年生活習慣病予防対策は病気の早期発見・早期治療という「二次予防」から、健康的な生活習慣により疾病の発症・進行を予防する「一次予防」に重点を移している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		運動指導の前提となる運動負荷検査が平成11年度は月4回、平成12年度は事業縮小して月1回になり、しかも平日にしか実施されないため施設を利用しづらい。										
	今後の予測		疾病の一次予防の観点から生活習慣を改める必要性の高い者は、今後も増加が見込まれる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども健康教室				整理番号	458		細番号						
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	471					
係名		健康推進係				上位施策名		NO							
予算事業名		栄養・健康教室		コード	42660	生涯を通じた健康づくりの支援		23							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 栄養改善法第8条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		児童・生徒		(2) 地域保健法第6条								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		心身の成長に合った望ましい食習慣を中心とした健康的な生活習慣の形成を目的とし、児童館や学校栄養職員と連携をとり、講義や食事づくりの体験教室を通して指導を行う。				活動指標名(式)				(1) 教室参加者数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		健康的な生活習慣が定着し、食事作りなど食をはじめとした生活技術を身に付ける。				成果指標名(式)				(1) 教室参加者数 ÷ 募集定員数				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		学童への食教育を通じて、健康的な生活習慣を身につけた成人(区民)を育成することにより、糖尿病や心臓病などの生活習慣病の有病率の減少やそれに伴う医療費の軽減などにつながり、生活習慣病予防への大きな貢献となる。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		人	81		143		140		138		140			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	135		84		90		82		90			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37		55		55		55		55			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50		0.50		0.41		0.42		0.48		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537		4,537		3,720		3,811		4,355			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	4,574		4,592		3,775		3,866		4,410			
	単位あたりコスト ÷		円	56,463		32,108		26,964		28,012		31,500			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	4,574		4,592		3,775		3,866		4,410				
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初に引き続き、肥満や高脂血症の増加など小児生活習慣病が課題となっている。加えて、朝食欠食や痩せ願望が子どもたちの間に広がり、こうした食生活全体の乱れに関する課題への対応も重要となっている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・「お雑煮」などの行事食を実習し食文化的なことにふれ、また、栄養学についても学ぶことができよい企画である。 ・おやつ作りや日ごろの子どもたちの食事だけではないテーマがよかった。 ・栄養ゲームが楽しく健康づくりの勉強ができた。												
	今後の予測		食生活の問題だけにとどまらず、テレビゲームの流行や通塾などによる運動不足の児童が増加し、ますます小児生活習慣病や体力低下など、生活全般にかかわる問題が増加する。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ヘルシーセミナー				整理番号	459		細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	472	
係名		健康推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		栄養・健康教室		コード	42660	生涯を通じた健康づくりの支援				23	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地域保健法第6条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 地域や個人の健康づくりに関心のある区民				(2) 老人保健法第14条						
					(3) 栄養改善法第8条						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 個人の健康づくりの三要素である栄養・運動・休養をテーマに、体験学習を含め延べ10日制の講座を実施する。受講後は健康生活の継続や地域への普及を目的に自主グループの結成につなげる。				活動指標名(式) (1) 受講者延べ数 (2)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 健康的な生活習慣を身に付けた区民を地域に増加させる。自主グループの結成により、健康的な生活スタイルが容易に継続されるとともにその活動が地域に普及し、地域全体に健康づくり活動を発展させる。				成果指標名(式) (1) 自主グループ新規入会者 / 参加者数 (2) セミナー開催数に対する自主グループの結成数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 参加者の健康度が向上し、また自主グループ活動が地域に健康づくりを普及させ、区民の健康づくり推進施策に貢献する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	1,821	1,870	2,500	1,229	2,500			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%		48	50	69	50			
	成果指標(2)		グループ	4	3	5	5	5			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	980	1,307	1,311	1,218	1,311			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.43	0.88	1.02	1.17	1.45	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,974	7,984	9,254	10,615	13,156		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	13,954	9,291	10,565	11,833	14,467			
	単位あたりコスト ÷		円	7,663	4,969	4,226	9,628	5,787			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円			245	352	539		
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	245	352	539		
差引: 一般財源 -		千円	13,954	9,291	10,320	11,481	13,928				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		食生活だけではなく総合的な視点からの健康づくりを組み立て、体験学習を中心にしたセミナーをスタートさせた。その後、主に主婦を対象に展開して好評を得てきたが、平成11年度組織改正による職員体制の変更や受講希望者の減少などから、開催日数や対象者などの見直しを行ない、一保健センターで試行的に実施した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		受講者からは好評の声が多く聞かれる事業である。「保健センターの仕事として最優先すべき。」「楽しく気軽に実行できる健康づくりのノウハウを家族や友人に広めたい。」「体脂肪や健診データが改善した。」「参加してみて、これまで納めた税金がはじめて還元された気がした。」等の意見が出されている。								
	今後の予測		広報への掲載場所や見出しの工夫等により受講希望者数の変動がある。昨年から広報の掲載方法が変わったこと等もあり受講者が減少しているが、これまで行政や保健センターなどに比較的関心の薄かった若年から中年層の区民が、健康なまちづくりについて関心を持つきっかけとなる場として、今後重要になってくる。また、健康づくり体験についても、引き続き区民ニーズが増加する。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	地域健康講座	整理番号	460	細番号	
所属部課名	保健福祉部健康推進課	コード	150431	連絡先電話番号	4524
				昨年度整理番号	473
係名	健康推進係	上位施策名	NO		
予算事業名	栄養・健康教室	コード	42660	生涯を通じた健康づくりの支援	23
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9 年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度	(1) 老人保健法	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	地域や健康づくりに関心のある区民	(2) 杉並区保健・福祉計画	
				(3) 栄養・健康教室実施要領	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	高齢者の生き方などの地域の健康や福祉に関する課題を継続的に学習・体験し、併せて区民相互の交流を図る事を目的に、1つの講座を2～4回で実施している。		活動指標名(式)	(1) 講座参加者数 (2) 講座開催数
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	個人の健康問題から、地域の健康問題へと発展させ考えることができる。ともに支えあえる地域づくりをめざし、自主グループ活動やボランティア活動等が積極的にできる。		成果指標名(式)	(1) 教室開催数における自主グループ成立数 (2)	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 一人ひとりの健康づくりが、地域の健康づくりに発展することで、「健康都市杉並」の推進に向けて貢献する。					

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	人数	509	453	400	378	400					
	活動指標(2)	回	5	5	5	5	5					
	成果指標(1)	グループ数	2	2	2	2	2					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	372	419	621	507	621					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.93	0.99	0.84	1.02	1.17	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,405	7,592	9,219	9,254	10,615	現在、成人高齢者保健対策委員会で、成人高齢者保健対策の体系化の検討中である。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	8,777	8,011	9,840	9,761	11,236					
	単位あたりコスト ÷	円	17,244	17,684	24,600	25,824	28,091					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	8,777	8,011	9,840	9,761	11,236					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	当初は、高齢者関係のテーマを多く取り上げていたが、中高年女性の更年期の問題や働き盛りの年代のころと身体、両面の健康問題も取り上げたテーマでも実施している。また、住んでいる地域を意識した教室運営になりつつある。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	主体的に取り組める教室運営であることから、参加者相互の交流が盛んに行なわれ好評である。										
	今後の予測	地域の健康問題を地域の中で考えていく講座の継続で、地域の支えあいのネットワーク、健康づくりが推進される。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		栄養・健康講座			整理番号	461		細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		
係名		健康推進係			上位施策名			NO		
予算事業名		栄養・健康教室		コード	42660		生涯を通じた健康づくりの支援		23	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地域保健法第6条					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 老人保健法第14条					
	新しい健康情報の収集をはじめ、健康づくり活動に関心のある区民。				(3) 栄養改善法第8条					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 話題となっている健康情報をテーマとし、情報の整理や正しい選択などを講義及び調理実演、実習方式で指導する。				活動指標名(式) (1) 講座の延べ開催数 (2) 講座の延べ参加者数					
意図（対象をどのような状態にしたいのか） マスコミ等から提供される広範囲な健康情報の中から、自分に合った正しい情報の選択を行い、さらにそれを活用して健康づくりが実践できるようになる。				成果指標名(式) (1) 全体の受講生に対する健康情報の正しい選択が可能となった受講者数の割合 (2) 全体の受講生に対する健康情報を活用して実践しようと思った受講者数の割合						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 多くの健康情報の中から個人にあった情報が選択でき、それを日々の生活の中で実践する区民が増えることにより、疾病予防や積極的な健康づくりが行われ、区民の健康度の向上に寄与できる。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回	60	64	43	57	43		
	活動指標(2)		人	1,373	1,383	1,260	1,065	1200		
	成果指標(1)		%		85	80	86	80		
	成果指標(2)		%		79	80	76	80		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,323	1,440	1,112	1,097	1,113		
	職員数(正規 非常勤)		人							特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++		千円	1,323	1,440	1,112	1,097	1,113		
	単位あたりコスト ÷		円	22,050	22,500	25,860	19,246	25,884		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円			191	332	746	
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	191	332	746	
差引:一般財源 -		千円	1,323	1,440	921	765	367			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		住民の健康志向の高まりと年々増加する健康情報により、こうした講座へのニーズがますます高まってきた。また、開始当初は食生活関連情報を中心に展開してきたが、健康全般の情報が提供されるようになり、講座のテーマ設定についても幅広く対応するようになった。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・マスメディアによる一方向の情報提供と異なり、行政と区民との双方向コミュニケーションにより情報の整理が容易にできた。 ・食事づくりの知恵が手軽に得られるので便利だ。頻繁に開催してほしい。 ・短時間に多様なことを実演するのわかりにくい。もっと時間をかけてほしい。							
	今後の予測		今後も、ダイエット関連情報をはじめ様々な健康情報が多く流され、健康不安などを抱く住民が増加することが予測される。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		集団給食施設指導				整理番号	462		細番号			
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	475			
係名 健康推進係					上位施策名				NO			
予算事業名 栄養・健康教室					コード	健康なまちづくりの推進				22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 27 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 栄養改善法第8条の2、第9条の2、第10条、第11条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 栄養改善法施行規則第6条							
	集団給食施設（特定多数人に継続的に食事を提供する施設）及びこれに準ずる施設				(3) 集団給食施設等指導実施要領							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)							
	主に施設への巡回及び保健所への来所により、栄養管理についての個別指導を行う。又、栄養報告書の提出や講習会等への参加を通して指導していく。				(1) 施設への巡回及び来所による指導数 (2) 講習会参加者数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
喫食者にあった栄養量が確保され、常に喫食者の健康づくりを配慮した食事を提供し、それを通して喫食者が健康づくりのための知識を収集できる施設にする。				(1) 基準栄養量に見合った給与栄養量を確保している施設数 / 栄養報告書提出施設数 (2) 喫食者に栄養及び健康教育を実施した施設数 / 栄養報告提出施設数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
集団給食施設の栄養管理が効果的に実施されることにより、区民である喫食者の健康づくりが可能となり、区民の栄養改善施策の向上に貢献する。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%
							計画	実績			16年度	
指標	活動指標(1)		施設	166	110	170	140	170	170	170	82.4	
	活動指標(2)		人	178	135	220	146	180	180	81.1		
	成果指標(1)		%	73	75	80	64	80	85	75.3		
	成果指標(2)		%	57	53	60	60	60	70	85.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	443	354	365	357	365				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.86	0.65	0.72	0.55		特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,083	7,803	5,897	6,533	4,990			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	4,526	8,157	6,262	6,890	5,355				
	単位あたりコスト ÷		円	27,264	74,153	36,838	49,211	31,501				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	4,526	8,157	6,262	6,890	5,355					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、コンビニエンスストアや外食利用の増加などにより集団給食の役割も変化してきた。また、給食施設の利用も朝食の喫食率の低下や夕食の主菜の偏重など飽食時代が反映されている。こうした中で、食教育の課題が増している。また、不況による合理化策の一環からと予測される給食施設運営の委託化が進行しており、現在把握している施設の半数強に至っている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・第六次改定栄養基準量にあった食事では、主菜量が少なく喫食者から不満の声があがる。栄養士サイドからは、所要量が適正なのかとの疑問の声もでた。・従業員の事務効率が向上するよう朝食に注目し、朝食の重要性についての指導媒体の提供等給食施設にあった指導が要請されている。・配食サービスの食事に栄養成分表示がほしいとの声もあがっている。									
	今後の予測		喫食者が施設の給食を利用するという前提のみで指導をするのではなく、外食等を利用する際にも健康的な視点から食事を選択する能力が身に付けられるよう食教育に重点をおいた指導が必要になってくる。このことを実践するために、給食管理のための基礎資料の提供等によって、適正な栄養管理ができるような支援が必要となる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神保健相談			整理番号	463		細番号					
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524					
係名		健康推進係			上位施策名			NO					
予算事業名		精神保健対策		コード	42700		障害者の地域社会での自立支援		476				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第2条、第47条 (2) (3)								
	精神障害者及びその家族並びに一般区民												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(1)各保健センターにおいて精神科専門医による相談日を設け、相談を行っている。 (2)保健婦による相談及び訪問指導を随時行っている。		活動指標名(式)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		(1)精神障害の予防、早期発見、早期治療、再発を予防する。 (2)一般区民に対し、精神保健に関する知識、理解を深め、広く区民の社会的偏見を是正する。		成果指標名(式)									
				(1) (代)相談者実人数 (2) (代)訪問指導者延回数									
精神保健に関する知識、理解を深め、社会的偏見を是正し、精神障害者が、住みなれた地域社会のなかで共に生きることができるまちを実現する。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		人	7,761	7,800	7,400	7,596	7,600					
	活動指標(2)		回	160	167	161	158	161					
	成果指標(1)		人			1,000	274	1,000					
	成果指標(2)		%			1,000	1,187	1,000					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,185	5,066	5,087	4,809	5,056					
	職員数(正規 非常勤)		人	8.57	8.33	8.40	8.30	8.28	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	77,756	75,578	76,213	75,306	75,124	精神保健に関する成果は、専門医の相談日における相談者の転帰ついて指標とするべきだが、成果としては、表しにくい。このため、代替指標で表す。(12年度から変更する。)				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	81,941	80,644	81,300	80,115	80,180					
	単位あたりコスト ÷		円	10,558	10,339	10,987	10,547	10,550					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円	676	1,322	1,326	1,326			1,326		
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	676	1,322	1,326	1,326			1,326		
差引:一般財源 -		千円	81,265	79,322	79,974	78,789	78,854						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		入院中心の医療から、地域ケアを中心とする対策への大きな変化の中で、相談・訪問指導延人数も平成11年度は昭和50年度(947人)に比較して8倍以上に増加し、相談内容も多様化している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		医療機関と違い、直接本人が来所できなくても、困った人が相談に来ることができる機関として評価されている。										
	今後の予測		社会的ストレス等の増加もあり、相談の需要はより多くなること、および相談内容の多様化にともない、精神科専門医の同伴の訪問相談の必要性が高くなることが予測される。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者社会復帰訓練				整理番号	464		細番号			
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	477		
係名				健康推進係				上位施策名		NO		
予算事業名				精神保健対策		コード	42700		障害者の地域社会での自立支援		34	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 精神精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 第2条			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)					
	回復途上にある精神障害者				(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)							
	各保健センターで、レクリエーション活動、創作活動等を実施する。必要に応じて、個別相談、訪問指導を行う。				(1) 参加者延人数 (2) 実施回数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
各保健センターで、レクリエーション活動、創作活動等を習得することにより、社会的自立と社会参加を実現する。				(1) 参加者実人数中社会復帰訓練を終了した者の割合 (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
精神保健に関する知識、理解を深め、社会的偏見を是正し、精神障害者が、住みなれた地域社会のなかで共に生きることができるようまちは実現する。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	3,568	3,955	5,280	4,036	5,800				
	活動指標(2)		回	389	388	384	394	390				
	成果指標(1)		%	11	9	10	10	10				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,093	13,515	13,543	12,114	13,531				
	職員数(正規 非常勤)		人	6.71	5.48	5.20	5.19	4.11		特記事項 社会復帰訓練終了とは、共同作業所への福祉的就労や家庭内適応を言う		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	60,880	49,720	47,180	47,089	37,290				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	73,973	63,235	60,723	59,203	50,821				
	単位あたりコスト ÷		円	20,732	15,989	11,500	14,669	8,762				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円	215	116	116	116	116			
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 + +		千円	215	116	116	116	116			
差引:一般財源 -		千円	73,758	63,119	60,607	59,087	50,705					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		入院中心の治療体制から地域社会でのケアへという流れの中で、新規入院患者の入院期間も短期化しつつある。参加者も比較的若い人が多くなってきて、地域において定期的に通所できる場として利用する者も出てくるようになった。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		医療の場と離れた地域の身近な場で通所しやすく、プログラムを通して地域社会と交流する場となり、また家族を含めた相談・支援が可能のため、好評である。									
	今後の予測		短期入院が多くなり、医療機関からの紹介が増えることから、待機者が増加するものと見込まれる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神保健福祉連絡協議会運営				整理番号	465		細番号		
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	478	
係名		健康推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		精神保健対策		コード	42700	障害者の地域社会での自立支援				34	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区精神保健福祉連絡協議会設置要綱				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)						
	精神保健福祉事業に関する機関及び団体		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		精神保健福祉事業に対する意見交換を行うとともに、情報交換等により関係機関・団体との連携を図る。		活動指標名(式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域における対象者のケースに適切に対処できるよう関係機関・団体との連携強化を図る。		成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		精神障害者を支える地域ネットワークを実現する。									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		精神障害者を支える地域ネットワークを実現する。									
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	回	2	0	2	2	2				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	団体	11	0	11	11	11				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	237	16	204	138	204				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.05	0.02	0.04	0.04	0.20	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	454	181	363	363	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	691	197	567	501	2,019				
	単位あたりコスト ÷	円	345,325	0	283,460	250,460	1,009,300				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	691	197	567	501	2,019					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	「障害者基本法」及び「精神保健及障害者福祉に関する法律」の改正等により、精神障害者が「障害者」として明確に位置付けられるとともに、これまでの保健医療施策に加えて、福祉施策の充実を図るなど、地域保健福祉施策の強化が求められている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・障害者に対する施策の充実を求めている。 ・地域のネットワークづくり									
	今後の予測	精神保健福祉事業を推進するにあたって、関係機関・団体との連携は、ますます重要になる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康手帳交付				整理番号	493		細番号	
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	510	
係名 健康推進係		上位施策名			NO					
予算事業名 生活習慣病対策		コード	44200		生涯を通じた健康づくりの支援			23		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人保健法 第13条				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 健康手帳交付事務処理要領						
	30歳以上で健康手帳の交付を希望する区民					(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 老人医療対象者には、高齢者在宅サービス課から老人医療証を送付する際同封している。医療対象者以外の区民には、希望により、保健所・各保健センター・区民事務所等の窓口で発行している。					活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 医療を受ける際に必要な事項を記載したり、健康診査の記録等に活用し、健康管理に役立てる。					成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 健康手帳の活用により、保健・医療・福祉の連携に大きな役割を果たしている。					(1) 健康手帳交付件数(70歳以上医療対象者を除く) ÷ 成人健康診査受診者数					
					(2)					
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	部	20275	20795	22000	17475	22000			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	32	35	38	40	39			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,507	2,459	2,398	2,207	2,398			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.11	0.11	0.10	0.11	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	998	998	907	998			907
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++	千円	3,505	3,457	3,305	3,205	3,305			
	単位あたりコスト ÷	円	173	166	150	183	150			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -	千円	3,505	3,457	3,305	3,205	3,305				
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	事業開始当初は、区民健康診査の対象年齢に合わせ40歳以上の希望者に窓口交付を行っていたが、その後成人健康診査の対象年齢を引き下げたのに合わせ、30歳以上の希望者にも窓口交付を行っている。なお、成人健康診査40歳勧奨者には、勧奨通知とともに健康手帳を同封し郵送している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測	老人医療対象者は今後増えると思われ、70歳以上の健康手帳の交付件数は増加が見込まれるが、医療対象者以外の区民にはPR不足等のため交付件数が伸びない。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活習慣病教室			整理番号	494		細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		
係名		健康推進係			上位施策名				NO	
予算事業名		生活習慣病教室		コード	44200		生涯を通じた健康づくりの支援	23		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50	年度		根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成	年度		(1) 地域保健法			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					(2) 老人保健法			
	生活習慣病の予防や活動に関心のある区民及び区民健診受診の結果要指導と判定された区民							(3) 生活習慣病教室実施要領		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 生活習慣病に関する予防及び改善についての医学的な知識、具体的な食生活や運動についての講義及び実技指導を教室や講座方式で開催し、住民に生活習慣病予防のための生活改善を促す。教室等の終了後は、好ましい生活習慣の継続にむけ自主グループづくりを行なう。						活動指標名(式) (1) 生活習慣病教室開催数 (2) 生活習慣病予防教室参加延べ数			
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 健康的な生活に向けて区民の改善意欲が高まり、健康的な生活スタイルの継続にむけて自主グループ活動が活発に行なわれる。						成果指標名(式) (1) 生活習慣の改善をしてみようという人数 / 生活習慣病予防教室出席者 (2) 自主グループ結成数 / 生活習慣病予防教室開催数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 糖尿病、高脂血症などの個別の生活習慣病の予防とそれらの疾病に伴う合併症の発症を抑制するための生活習慣病予防対策を通して健康寿命の延長をはかり生涯を通じた区民の健康づくりへ貢献している。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回	36	38	35	35	35		
	活動指標(2)		人	1,643	1,635	1,530	1,903	1530		
	成果指標(1)		%		71	80	60	80		
	成果指標(2)		%	11	20	20	20	20		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,225	1,979	2,176	2,062	2,176		
	職員数(正規 非常勤)		人	2.91	3.39	3.89	3.98	3.53	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	26,402	30,757	35,294	36,111	32,028		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	28,627	32,736	37,470	38,173	34,204		
	単位あたりコスト ÷		円	795,206	861,486	1,070,571	1,090,644	977,248		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円			307	485	1,398	
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 + +		千円	0	0	307	485	1,398	
差引: 一般財源 -		千円	28,627	32,736	37,163	37,688	32,806			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		糖尿病患者や、虚血性心疾患に関連する高脂血症の増加に対して対応してきた。糖尿病については、近年保健所で教室などを通じて指導するようになった。その後の行政の役割は、保健所以外の健診後の指導や肥満対策などを通じた予防対策が重要となってきている。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		知識が深まり、個人にあわせた食生活・運動等の実践が具体的でわかりやすいと好評である。終了後にできたグループに参加し、生活習慣改善が達成され生活が楽しくなり、検査データも改善した。検査データに一喜一憂するだけでなく、トータルした健康づくりを考えるようになった。							
	今後の予測		今後も、生活習慣病は増加し、その合併症による医療費の増加や主要死亡疾患としても増加の一途を辿っていくことが予測される。(こうした背景の中で、行政の役割がますます重要になってくる。) 今後は、生活習慣病改善のための情報提供を中心とした教室開催から、生活改善を支援する環境づくりも含めた新たな展開方法の検討が課題となってくる。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		胃がん検診				整理番号	495		細番号			
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	514			
係名 健康推進係		上位施策名						NO				
予算事業名 がん検診		コード	44600		生涯を通じた健康づくりの支援				23			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		51 年度		根拠法令等						
	事業終期	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 胃集団検診実施要領								
	35歳以上で勤務先等に検診機会のない区民					(2)						
						(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区医師会に委託して、申込制により通年実施している。					活動指標名(式)						
					(1) 胃がん検診受診者数							
					(2) 要精密検査者数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 早期にがんを発見する。					成果指標名(式)							
					(1) 受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率)							
					(2) 要精密検査者率 (要精密検査者数) ÷ (受診者数)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		15	年度			
指標	活動指標(1)		人	6586	4104	9600	8635	9474	10200	84.7		
	活動指標(2)		人	1019	823	1920	2274	1900	3060	74.3		
	成果指標(1)		%	4	2	6	5	5	5	100.0		
	成果指標(2)		%	15	20	20	26	20	20	130.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	35,259	33,263	39,044	36,594	37,602	特記事項			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.74	1.12	0.53	0.87	0.59				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	15,787	10,162	4,809	7,894	5,353				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	51,046	43,425	43,853	44,488	42,955				
	単位あたりコスト ÷		円	7,751	10,581	4,568	5,152	4,534				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円	787	582	4,172	3,902	4,473			
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 + +		千円	787	582	4,172	3,902	4,473			
差引:一般財源 -		千円	50,259	42,843	39,681	40,586	38,482					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から老人保健法等に基づき交付されていた国庫補助等が一般財源化され、区の財政を圧迫している。また厚生省は「がん検診の有効性評価に関する研究班報告」を発表した。平成12年度から従来のX線による検診の他に、40歳から65歳までの5歳毎の節目年齢の希望者に対して、血清ペプシノゲン検査を区民健康診査と同時に実施している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		保健医療センター1箇所での検診は不便である。検診車を復活するか或いは近くの医療機関で実施する等自宅の近くで受診できるように工夫して欲しい。									
	今後の予測		胃がんによる死亡率は減少しているものの、罹患率は依然として高い水準で推移しており、この傾向は今後も続くことが見込まれる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子宮がん検診			整理番号	496		細番号					
所属部課名 杉並保健所健康推進課				コード	150104		連絡先電話番号	4524					
係名 健康推進係				上位施策名				NO					
予算事業名 がん検診				コード	44600		生涯を通じた健康づくりの支援		23				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 51 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区子宮がん検診実施要領								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 30歳以上で勤務先等に検診機会のない女性の区民				(2)								
					(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 申込制により、杉並区医師会等に委託し実施している。				活動指標名(式)								
					(1) 受診者数								
				(2) 要精密検査者数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 早期にがんを発見する。				成果指標名(式)									
				(1) 受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率)									
				(2) 要精密検査者数 ÷ 受診者数									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値					
					計画	実績		15年度	目標値に対する12年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		人	10480	10680	10430	10618	10540	12000	88.5			
	活動指標(2)		人	30	107	84	111	84	96	115.6			
	成果指標(1)		%	8	8	9	9	9	11	81.8			
	成果指標(2)		%	1	1	1	1	1	1	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	112,444	116,659	105,145	116,777	119,259					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.89	0.95	1.01	1.07	0.80	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,075	8,619	9,164	9,708			7,258		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +		千円	120,519	125,278	114,309	126,485	126,517					
	単位あたりコスト ÷		円	11,500	11,730	10,960	11,912	12,004					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	120,519	125,278	114,309	126,485	126,517						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から乳がん検診とともに、医師会実施分について受診票の自動送付を希望する区民を登録したことにより、申込方法の簡素化ができ、当該実施分の受診者数が増加した。 平成13年度から、東京都がん検診センターへの委託を医師会委託に一本化した。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		現在、中野区の一部の医療機関でも受診できるが、その他の近隣区でも受診できるようにしてほしいとの意見がある。										
	今後の予測		平成13年度から受診期間を延長したことにより、今後益々受診者数が増加すると思われる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		肺がん検診			整理番号	497		細番号		
所属部課名 杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	516	
係名 健康推進係				上位施策名				NO		
予算事業名 がん検診		コード	44600		生涯を通じた健康づくりの支援				23	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54 年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区肺がん検診実施要領					
	35歳以上で勤務先等に検診機会のない区民。		(2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)							
	毎年6月20日から8月20日までの二ヶ月間に、申込制により区内医療機関に委託して実施している。		活動指標名(式)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		早期にがんを発見する。						成果指標名(式)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。						(1) 受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率)		
								(2) 要精密検査者率 (要精密検査者数) ÷ (受診者数)		
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		15	年度		
指標	活動指標(1)	人	2134	2079	2800	2183	2300	2500	87.3	
	活動指標(2)	人	62	48	70	48	70	75	64.0	
	成果指標(1)	%	1.13	1.09	1.14	1.13	1.17	1.20	99.2	
	成果指標(2)	%	2.91	2.60	3.18	2.20	3.04	3.00	69.1	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	33,096	32,736	33,316	33,194	31,151			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.13	0.45	0.52	0.54	0.49	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,179	4,083	4,718	4,899	4,446		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	34,275	36,819	38,034	38,093	35,597			
	単位あたりコスト ÷	円	16,062	17,710	13,584	17,450	15,477			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -	千円	34,275	36,819	38,034	38,093	35,597				
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成10年度から、老人保健法等に基づき交付されていた国庫補助等が一般財源化され、区の財政を圧迫している。また、厚生省は「がん検診の有効性評価に関する研究班報告」を発表した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	2ヶ月の実施期間では短いのもう少し延長して欲しい。								
	今後の予測	肺がんによる死亡数の増加傾向は今後も続くことが見込まれるので、肺がん予防対策の重要性は変わらない。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		乳がん検診				整理番号	498		細番号						
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	517					
係名					健康推進係			上位施策名		NO					
予算事業名					がん検診		コード	44600		生涯を通じた健康づくりの支援	23				
事務事業の概要	事業開始年度					<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期					<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区乳がん検診実施要領					
	対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)				(3)			
	30歳以上で勤務先等に検診機会のない女性の区民														
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					活動指標名(式)									
申込制により、杉並区医師会及び区内個別医療機関に委託し実施している。					(1) 受診者数										
					(2) 要精密検査者数										
意図（対象をどのような状態にしたいのか）					成果指標名(式)										
早期にがんを発見する。					(1) 受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率)										
					(2) 要精密検査者数 ÷ 受診者数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。															
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%					
					計画	実績		15年度							
指標	活動指標(1)		人	8282	8832	8100	8592	8865	9900	86.8					
	活動指標(2)		人	129	196	300	171	300	335	51.0					
	成果指標(1)		%	6	7	7	7	8	8	87.5					
	成果指標(2)		%	2	2	4	2	3	3	66.7					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,739	36,081	31,732	35,012	37,129							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.33	0.34	0.42	0.43	0.39	特記事項						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,994	3,085	3,811	3,901	3,538							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	37,733	39,166	35,543	38,913	40,667							
	単位あたりコスト ÷		円	4,556	4,435	4,388	4,529	4,587							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	37,733	39,166	35,543	38,913	40,667								
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から子宮がん検診とともに受診票の自動送付を希望する区民を登録したことにより、申込方法の簡素化ができ、当該実施分の受診者数が増加した。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		現在の視触診のみの検診方法では、十分な検診結果が得られないのではとの意見がある。												
	今後の予測		区民のがん予防への関心の高まりにより、今後益々受診者数が増加すると思われる。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大腸がん検診				整理番号	499		細番号		
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	518	
係名				健康推進係		上位施策名			NO		
予算事業名				がん検診		コード	44600		生涯を通じた健康づくりの支援		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4年度		根拠法令等		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区大腸がん検診実施要領 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区民健康診査 (高年者健康診査、成人健康診査) 受診者に対し、同時に実施している。						
	活動指標名 (式)				(1) 大腸がん検診の受診者数 (2) 要精密検査者数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				早期にがんを発見する。							
成果指標名 (式)				(1) 受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率) (2) 要精密検査者率 (要精密検査者数) ÷ (受診者数)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		15年度	年度			
指標	活動指標(1)		人	66,614	66,332	66,500	69,847	69,200	71,700	97.4	
	活動指標(2)		人	5,405	5,579	6,000	6,084	6,264	6,245	97.4	
	成果指標(1)		%	47	46	50	45	47			
	成果指標(2)		%	8	8	10	9	9			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	134,282	134,006	131,658	124,748	123,027			
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.71	1.33	1.16	1.20	1.22	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	15,455	12,067	10,525	10,888	11,069		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	149,737	146,073	142,183	135,636	134,096			
	単位あたりコスト ÷		円	2,248	2,202	2,138	1,942	1,938			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	149,737	146,073	142,183	135,636	134,096				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成4年4月から、便潜血2日法により、原則として、区民健康診査を実施した人で検診を希望する人に同時に実施している。区民健康診査受診者数の増加に伴い、大腸がん検診の受診者数も増加し、また65歳以上の受診者が毎年増加している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		世田谷区と相互乗り入れを希望する声がある。								
	今後の予測		高年者が毎年増加しているため、今後、高年者健康診査と同時に実施する大腸がん検診受診者は増加する。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		喉頭がん検診				整理番号	500		細番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	519	
係名		健康推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		がん検診		コード	44600	生涯を通じた健康づくりの支援			23		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区喉頭がん検診実施要領					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	55歳以上で勤務先等に検診機会のない区民(500人定員制)					(3)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 申込制により、杉並区医師会に委託し実施している。					活動指標名(式)					
					(1) 受診者数						
					(2) 要精密検査者数						
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 早期にがんを発見する。					成果指標名(式)						
					(1) 要精密検査者数 ÷ 受診者数						
					(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		15年度			
指標	活動指標(1)		人	1173	1092	360	339	450	500	67.8	
	活動指標(2)		人	5	5	5	3	10	11	27.3	
	成果指標(1)		%	0.43	0.46	1.39	0.88	2.2	2	50.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,495	13,529	4,150	4,159	5,544			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.23	0.32	0.32	0.29	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	2,087	2,903	2,903	2,631			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	16,582	15,616	7,053	7,062	8,175			
	単位あたりコスト ÷		円	14,136	14,300	19,593	20,833	18,167			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	16,582	15,616	7,053	7,062	8,175				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区民のがん予防への関心の高まりにより、年々受診者数が増加したが、検診開始からがんの発見の報告が極めて少ないこと、また老人保健法に定められた事業ではないことなどの理由から平成12年度より対象年齢の引き上げ並びに検診人数を定め、事業の縮小を行った。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		検診希望者が定員を上回り抽選となるため、毎回落選となり受診できない区民から公平性に欠けるのではないかと、また落選者については次年度実施の際優遇措置を講ずる必要があるのではないかと意見がある。								
	今後の予測		対象年齢の引き上げを行ったものの希望者は今後も定員を上回ると思われる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者健康診査				整理番号	501		細番号					
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	520				
係名		健康推進係			上位施策名				NO					
予算事業名		区民健康診査		コード	44800	生涯を通じた健康づくりの支援				23				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人保健法第12条、16条、20条							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 老人保健法による保健事業の実施について									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		健診実施機関... 9月～11月。区内及び隣接区(中野・練馬)の医療機関で受診。対象者全員に受診票を送付。大腸がん・胃がん(ペプシノゲン検査法)検診同時実施。							(3) 杉並区区民健康診査等実施要領				
	活動指標名(式)		(1) 受診者数											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		生活習慣病予防対策の一環として、疾患あるいはリスクを持つものの早期発見を図る。健康管理に関する正しい知識を伝え、生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得を動機づける。健康寿命を延ばし、寝たきりや介護状態を予防する。							(2) 要指導者数					
成果指標名(式)		(1) 受診者数 ÷ 65歳以上の人口												
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(2) 要指導者数 ÷ 受診者数												
寝たきりや介護状態を予防し、健康寿命を延ばすことにより、老後の生活の質(QOL)の向上が図られる。また、医療や介護に対する社会的負担を軽減することができる。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度計画		12年度実績		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	54,459		46,732		44,600		48,730		48,600	52,600	92.6
	活動指標(2)		人	18,356		15,238		14,553		16,434		16,390	17,738	92.6
	成果指標(1)		%	51		58		51		59		57	57	103.5
	成果指標(2)		%	34		33		32		34		34	34	100.0
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,027,949		856,638		762,517		826,870		817,678	884,976	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.63	0.10	0.68	0.10	0.84	0.10	0.76	0.10	0.99	0.10	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,716		6,170		7,621		6,895		8,982	
		非常勤職員分		千円	294		294		294		294		294	
	総事業費 ++		千円	1,033,959		863,102		770,432		834,059		826,954		
	単位あたりコスト ÷		円	18,986		18,469		17,274		17,116		17,016		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0	
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0	
差引: 一般財源 -		千円	1,033,959		863,102		770,432		834,059		826,954			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化の進展とともに対象人口が増えつつけている。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		世田谷区との相互乗入れを希望する声がある。対象者全員への受診票送付は、申込手続きが不要で良いという意見がある一方で、経費の無駄であるという反対意見がある。											
	今後の予測		対象人口が増える。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人健康診査				整理番号	502		細番号	
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	521
係名		健康推進係			上位施策名				NO	
予算事業名		区民健康診査		コード	44800	生涯を通じた健康づくりの支援				23
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人保健法第12条,16条,20条			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 老人保健法による保健事業の実施について			
	30歳～64歳で勤務先等に健診機会のない区民(自営業、専業主婦など)						(3) 杉並区区民健康診査等実施要領			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		受診者の誕生日から3ヶ月間に区内及び隣接区(中野・練馬)の医療機関、保健センターで健診を受ける。申込制(継続送付制度あり)。				活動指標名(式)			
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		生活習慣病予防対策の一環として、疾患あるいはリスクを持つものの早期発見を図る。健康管理に関する正しい知識を伝え、生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得を動機づける。健康寿命を延ばし、寝たきりや介護状態を予防する。				成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		健康を維持し健康寿命を延ばすことにより、老後の生活の質(QOL)の向上が図られる。また、医療や介護に対する社会的負担を軽減することができる。				(1) 受診者数 ÷ 老人健康保健法対象人口(受診率)				
						(2) 要指導者数 ÷ 受診者数				
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		15	年度		
指標	活動指標(1)	人	16,523	23,785	22,980	25,218	28,000	30300	83.2	
	活動指標(2)	人	5,982	8,545	8,255	10,077	11,189	12108	83.2	
	成果指標(1)	%	17	22	21	23	25	25	92.0	
	成果指標(2)	%	36	36	36	40	40	40	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	289,115	410,932	374,387	402,769	448,260	485,081		
	職員数(正規 非常勤)	人	8.41 1.70	8.36 1.50	8.72 1.50	8.67 1.50	8.33 1.50	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	76,010	75,558	78,811	78,663	75,578		
		非常勤職員分	千円	5,297	4,674	4,674	4,409			
	総事業費 ++	千円	370,422	491,164	457,872	485,840	523,838			
	単位あたりコスト ÷	円	22,419	20,650	19,925	19,266	18,709			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円	57,292	93,978	88,562				
		特定財源計 ++	千円	57,292	93,978	88,562	0	0		
差引: 一般財源 -	千円	313,130	397,186	369,310	485,840	523,838				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	当初、老人保健法に基づき40歳から60歳の区民を対象としてきたが、昭和61年からは35歳以上に、平成2年からは30歳以上と対象年齢を引き下げた。平成8年から継続送付希望者登録制の実施。平成11年からは30歳～64歳と対象年齢を変更した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	世田谷区と相互乗り入れを希望する声がある。								
	今後の予測	対象人口の増加が見込まれ、受診率も向上する。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境衛生監視				整理番号	470		細番号			
所属部課名		保健所生活衛生課		コード	150231	連絡先電話番号	4522		昨年度整理番号	486		
係名				管理係		上位施策名			NO			
予算事業名				環境衛生監視		コード	42800		健康を支える仕組みづくり			
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		50年度		根拠法令等			
	事業終期				●無 ○有		平成年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 理美容師法、クリーニング業法、公衆浴場法、旅館業法等 (2) 水道法、ビル衛生管理法、環境衛生指導指針等 (3) プール条例、コインランドリ要綱等、健康で快適な室内環境の確保事業実施要領等			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 環境衛生関係営業者、営業施設利用区民。 共同住宅等建築物管理者・居住者、水道施設管理者・設置者、井戸所有者。							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名（式）							
	環境衛生営業施設の許認可、衛生指導、講習会の開催等。建築物の室内環境調査指導等及び飲料水の安全確保。				(1) 営業施設の監視指導数（講習会参加施設含）及び住居衛生に関する相談事業数 (2)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名（式）								
区民の生活に欠かせない営業施設の衛生水準を向上させ、安心して利用できる施設とする。安全な居住環境の実現や飲料水の供給により、健康で快適な住まいを確保する。				(1) 衛生基準適合施設 / 理化学検査施設数 (2) 室内環境に関する相談に対する住宅調査戸数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				区民を取り巻く環境や生活諸条件の中で衛生指導・相談を行うことにより、区民の健康を確保する。								
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		17年度	年度				
指標	活動指標(1)	件	14594	3253	1500	2564	1891					
	活動指標(2)	件										
	成果指標(1)	%	94.4	92.5	100	93.5	100	100	93.5			
	成果指標(2)	戸	161	99	50	224	100	500	44.8			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,341	3,590	3,340	2,820	3,314	12,990	21.7			
	職員数(正規 非常勤)	人	9.90	9.90	9.00	9.00	9.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	89,823	89,823	81,657	81,657	81,657	活動指標：11年度実績数値には、いわゆるカリスマ美容師問題による立入調査増。10年度は、井戸調査数含む。成果指標 12年度実績には生活環境意識・実態調査を含む			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	93,164	93,413	84,997	84,477	84,971					
	単位あたりコスト ÷	円	6,384	28,716	56,665	32,947	44,934					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円	3,412	3,183	3,384	2,730	3,368				
		特定財源計 + +	千円	3,412	3,183	3,384	2,730	3,368				
差引：一般財源 -	千円	89,752	90,230	81,613	81,747	81,603						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	社会状況の変動(例えば、化学物質による室内汚染、公衆浴場・特別養護老人ホーム等のレジオネラ属菌による汚染、水道水への不信任等)により新しい事例・対策が生じ、これらに対応して事業内容を変化させる必要がある。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民ニーズは、社会の動きに敏感であり、マスコミ等に事例が取り上げられるとすぐに行政としての対応を求められる。現在、区民の要望により、室内の化学物質量の測定、アレルギーの原因となるダニ抗原量の検査等実施し、住まい方のアドバイスを行うことにより、自己の住宅の現況を住民自身が理解することができる。と期待されている。										
	今後の予測	飲料水の安全確保を含む住居衛生事業は、国の動き(室内環境への取組みとして、新たな化学物質の環境基準値設定や窓口相談マニュアルの作成等)や区民から相談が増加しているアレルギー対策(ダニ抗原量の測定)など、今後も内容を充実していく必要がある。また、理美容所の消毒方法の変更が行われたが、プールの検査項目の増加も検討されており、営業施設へのさらなる指導が必要となる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		食品衛生監視				整理番号	471		細番号		
所属部課名		杉並保健所生活衛生課		コード	150231	連絡先電話番号	4522		昨年度整理番号	487	
係名 管理係				上位施策名				NO			
予算事業名 食品衛生監視				コード	43000		健康を支える仕組みづくり				40
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 23 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 食品衛生法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 食品関係営業者、営業施設、営業施設利用者及び区民				(2) 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律						
					(3) 食品製造業等取締条例						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 飲食に起因する衛生上の危害の発生防止と衛生知識向上を目的として、法及び条例に基づき許可・監視・検査・講習会等を実施している。				活動指標名(式) (1) 食品関係営業施設の監視指導件数 (2) 食品衛生講習会実施件数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 飲食に起因する衛生上の危害発生を防止するとともに、区民の食品の安全性に対する不安を取り除き、安全で健康的な食生活を確保する。				成果指標名(式) (1) 全福祉・教育関係給食(食事)提供施設における衛生管理検査票(HACCP方式)63項目の平均適合率(%) (2) 区内施設(家庭を含む)に原因があった苦情及び食中毒の件数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民の健康危機管理を確かなものにし、食生活を通して区民が安心して暮らせるまちづくりに寄与する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	26,273	24,714	24,731	26,105	23,635			
	活動指標(2)		回	263	299	194	296	286			
	成果指標(1)		%	86	90	93	95	96			
	成果指標(2)		件	51	50	45	60	45			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,675	5,408	4,265	4,632	8,092			
	職員数(正規 非常勤)		人	21.87	21.58	21.00	21.29	21.25	特記事項 ・活動指標の計画数値は、12年度までは各年度2年前までの5年間の平均値であったが、13年度は前3年間の平均値とした。 ・成果指標を区内施設による苦情及び食中毒の件数から区内施設に原因があった苦情及び食中毒の件数に改めた。 ・成果指標(2)の目標値は、10年度以降の最小実績の90%とした。		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	198,427	195,795	190,533	193,164	192,801			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	206,102	201,203	194,798	197,796	200,893			
	単位あたりコスト ÷		円	7,845	8,141	7,877	7,577	8,500			
	財源	受益者負担分		千円		3,011					
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円	23,185	16,357	12,171	12,399		14,209	
		特定財源計 ++		千円	23,185	19,368	12,171	12,399		14,209	
差引:一般財源 -		千円	182,917	181,835	182,627	185,397	186,684				
受益者負担比率 ÷		%		1.5							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		現在の衛生水準は戦後の復興期と較べ飛躍的に発展したが、食品流通のグローバル化は、輸入食品の増大による食品添加物や残留農薬の問題やO157等の新興感染症の勃興を生み出している。また、科学技術の進歩は、遺伝子組換え食品等の出現など食品の安全性への新たな課題を生み出している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		保健所機能強化のために実施している過去4年間の区民実態調査の中で、行政に対する保健施策の要望では、「食品の監視や安全指導」が、構成比で11.3%(N=1,158)、13.5%(N=1,162)、11.5%(N=944)、11.2%(N=929)と常に上位3位を占めており、区民の食品への安全性に関する高まりが示されている。								
	今後の予測		多種多様な食品が満ち溢れ、食生活が便利になる一方、O157やサルモネラ等の新興・再興感染症の勃興や国際化の進展による輸入食品の増加、科学・生産技術の進歩による遺伝子組換え食品等新たな食品の登場、化学物質への不安から食品の安全性がいつそう求められることが考えられる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		動物の適正飼養				整理番号	472		細番号		
所属部課名		杉並保健所生活衛生課		コード	150231	連絡先電話番号	4522		昨年度整理番号	488	
係名 管理係				上位施策名					NO		
予算事業名 動物の適正飼養				コード	43200	健康を支える仕組みづくり				40	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 動物の愛護及び管理に関する法律						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 犬・猫の飼養者				(2) 東京と動物の保護及び管理に関する条例						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 動物の適正飼養の普及啓発 [冊子・広報紙・プレート・相談（獣医師会委託を含む）] 犬のしつけ方教室				活動指標名(式) (1) 台帳保有数 (2) 犬のしつけ方教室受講者						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 動物の適正飼養の指導及び相談を通し、愛護の理解を深めてもらう				成果指標名(式) (1) 苦情・相談受付件数 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 動物愛護と適正飼養及び動物の病気予防の普及啓発をし、人と動物が共生できる環境をつくる											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	12,613	14,080	14,100	14,625	14,700			
	活動指標(2)		人	0	30	60	36	60			
	成果指標(1)		件	1,234	1,428	1,500	1,123	1,200			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,825	1,836	1,678	1,560	1,795			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,341	11,341	11,341	11,341	11,341			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	13,166	13,177	13,019	12,901	13,136			
	単位あたりコスト ÷		円	1,044	936	923	882	894			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	13,166	13,177	13,019	12,901	13,136				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、犬猫は人生の伴侶動物として、人の生活を精神的に支えるのに不可欠な存在となっているが、住宅環境の変化により、鳴き声・臭い・飼い方等、近隣とのトラブルが増えている。 苦情相談件数 H3 620件 H12 1,123件 犬登録頭数 H3 9,887頭 H12 14,625								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		犬の放し飼い、散歩時のフンの放置に対する飼い主への罰則 ホームレス猫の対策								
	今後の予測		普及啓発、指導を勧めても飼養者のモラルによるところが大であるため、苦情等減少することは難しい								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		畜犬登録		整理番号	473	細番号	
所属部課名		杉並保健所生活衛生課		コード	150231	連絡先電話番号	4522
				昨年度整理番号		490	
係名 管理係				上位施策名			NO
予算事業名 動物の適正飼養				健康を支える仕組みづくり			40
事業開始年度		●昭和 ○平成		50 年度		根拠法令等	
事業終了年度		●無 ○有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 狂犬病予防法 (2) (3)			
犬の飼養者							
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			活動指標名（式）			
	畜犬登録事務 狂犬病予防集合注射 未登録・未注射犬に対する督促			(1) 未登録・未注射犬督促 (2)			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			成果指標名（式）			
	法律に基づいた、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施させる			(1) 鑑札登録頭数 ÷ 台帳保有数 (2) 狂犬病予防注射実施頭数 ÷ 台帳保有数			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか						
狂犬病予防注射接種率の向上により、狂犬病の発生を未然に防ぐ							

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
				計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)	件	5,063	4,486	4,300	4,892	4,800		
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	%	86	88	90	94.5	95		
	成果指標(2)	%	80	73	80	71.5	80		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,969	1,831	1,857	1,737	2,004		
	職員数(正規 非常勤)	人	1.25	1.35	1.35	1.35	1.25	特記事項 指標名欄の台帳保有数は鑑札・注射済票の両方とも登録がある台帳 鑑札だけ登録がある台帳 注射済票だけ登録がある台帳 上記 ~ をあわせたものである	
	人件費	千円	11,341	12,249	12,249	12,249	11,341		
	職員分(超勤分含む)	千円							
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	13,310	14,080	14,106	13,986	13,345		
	単位あたりコスト ÷	円	2,629	3,139	3,280	2,859	2,780		
	財源	千円							
	受益者負担分	千円							
	国・都からの支出金	千円							
その他特定財源	千円	5,524	5,622	9,318	10,446	9,656			
特定財源計 ++	千円	5,524	5,622	9,318	10,446	9,656			
差引:一般財源 -	千円	7,786	8,458	4,788	3,540	3,689			
受益者負担比率 ÷	%								

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	狂犬病予防法の改正により、昭和60年度から狂犬病予防注射は従来年2回が1回に、平成7年度から犬の登録は、毎年度登録が生涯に1回となった
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	・集合注射会場近隣から、会場に集まる犬のフン・鳴き声等に関する苦情 ・昭和32年以降、日本で狂犬病の発生がないのに、なぜ注射をいまだに法律で義務づけているのかといった苦情
	今後の予測	海外では、いまだに狂犬病が発生しており、また輸入動物の多様化により狂犬病発生の危険があるので、今後も予防注射は必要である

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	薬事監視	整理番号	474	細番号	
所属部課名	杉並保健所生活衛生課	コード	150231	連絡先電話番号	4522
係名 薬事担当		上位施策名		昨年度整理番号	491
予算事業名	医務・薬事監視	コード	43300	健康を支える仕組みづくり	40
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9 年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度	(1) 薬事法	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 毒物及び劇物取締法	
	医薬品販売業者、毒物劇物販売業者、有害物質（ホルマリン等）を含む家庭用品の販売業者			(3) 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			活動指標名(式)	
医薬品販売業者等上記の事業者に対し、施設への立入検査を実施し、法令等の遵守を指導するとともに、医薬品や家庭用品などを施設から収去又は買取し、品質の検査を行う。又、関係事業者や区民に対して講習会や関係情報の提供を行う。			(1) 監視指導件数		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）			成果指標名(式)		
関係業態の法令遵守を徹底する事で、医薬品等や毒劇物による区民への健康障害或いは事件・事故の発生の未然防止を図る。更に関係情報を区民をはじめ広く提供していく事で健康の維持・向上を目指す。			(1) 法令基準適合施設数 / 監視指導施設数		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか			(2) 改善件数 / 法不適合重点項目改善指示件数		
本事業の意図を実現することで、誰もが健康被害を受けることのない安心して暮らせる健康都市杉並の実現に貢献している。					

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値 15年度	目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	件	121	109	300	184	270	300	61.3
	活動指標(2)	件	45	43	140	107	140	140	76.4
	成果指標(1)	%	61	69	80	85	85	90	94.4
	成果指標(2)	%	48	46	70	55	70	80	68.8
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,694	1,157	1,844	1,975	2,290		
	職員数(正規 非常勤)	人	1.10	1.10	2.00	2.02	2.02		特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,980	9,980	18,146	18,327	18,327	平成12年度より毒物劇物取締法、家庭用品の規制に関する法律の事務移管を受けた結果、事業費は倍増している。(活動指標及び成果指標について)薬事法、毒物劇物取締法、家庭用品規制法と異なる法律に基づき異なる業態への立入指導を行っているが、法基準遵守を確保する為に行う業務の性質は全て同様であるため、これらの監視件数の合計で計上してある。活動指標及び成果指標の平成10、11年度は、医薬品販売業についてのみ指標である。
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++	千円	11,674	11,137	19,990	20,302	20,617		
	単位あたりコスト ÷	円	96,482	102,177	66,633	110,339	76,361		
	財源	受益者負担分	千円	470	544	684	618	620	
		国・都からの支出金	千円						
		その他特定財源	千円						
		特定財源計 ++	千円	470	544	684	618	620	
差引:一般財源 -	千円	11,204	10,593	19,306	19,684	19,997			
受益者負担比率 ÷	%	4.0	4.9	3.4	3.0	3.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	大手ドラッグストアチェーンの増加に伴い個人経営等の小規模医薬品販売業の廃業が増加しており、医薬品販売業全体としての業態施設数は減少している。一方、平成12年度より毒物劇物取締法、家庭用品規制法の事務移管により薬事担当対象業態施設は倍増している。又、対象業態については医薬品の副作用による健康障害、毒劇物の飲食物への混入などによる事件・事故が発生している。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成13年4月の都議会決算特別委員会で、杉並区選出の議員より、深夜における薬剤師不在での医薬品販売の実態が取上げられ、医薬品の副作用による健康障害を防止するためにも一層の監視指導が要求された。医薬品使用時に於ける適切な情報提供のあり方及び毒物劇物の万全な保管管理等広く求められている。							
	今後の予測	現在東京都第二次分権計画により、薬局及び毒物劇物業務上取扱者(学校や保健所など業務上毒劇物を扱う者)の特別区への事務移管が検討されており、これらに対応するためにも一層の監視指導等業務の強化・工夫が必要と考えられる。							